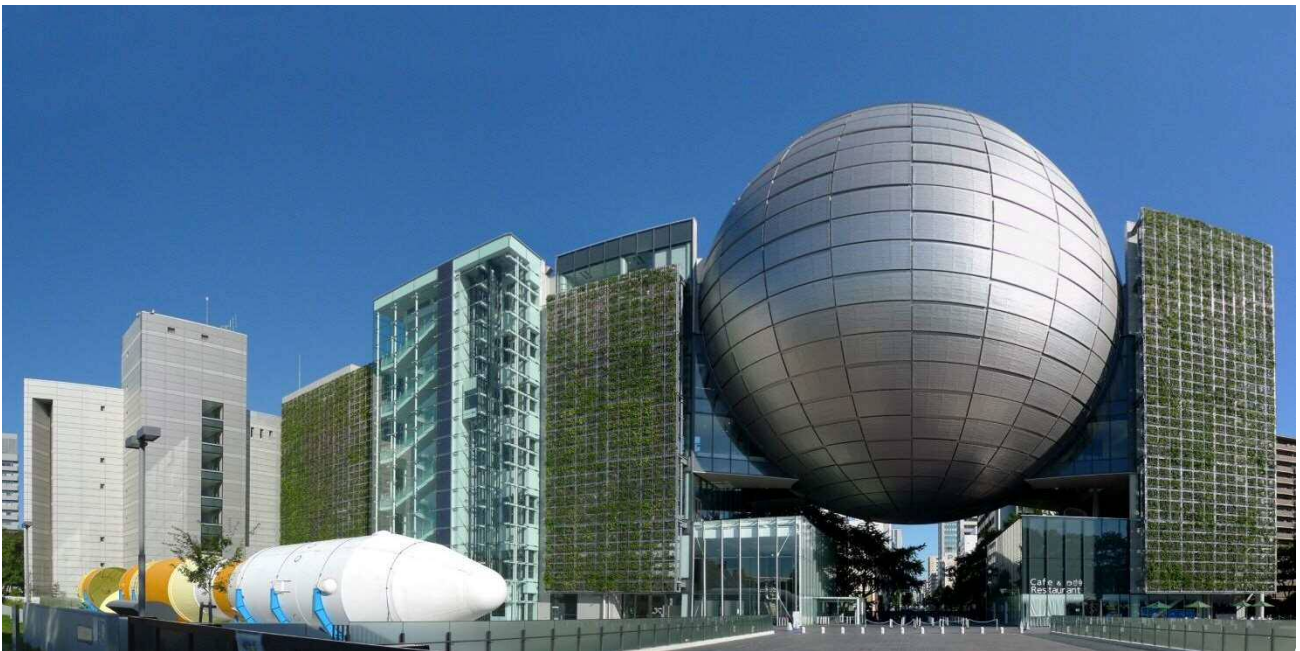

名古屋市科学館

要覧

平成 29 年度



は じ め に

名古屋市科学館は、「みて、ふれて、たしかめて」をコンセプトに、世界最大のプラネタリウム「Brother Earth (ブラザーアース)」や、自然のダイナミズムを体感できる4つの大型展示をはじめとした多くの体験型の展示品を通して、楽しみながら科学に触れることのできる施設として、多くの皆様に親しまれております。平成28年度には、約138万人の方にお越しいただき、様々な科学の魅力を体感していただきました。

夏の特別展では、当館学芸員が第56次日本南極地域観測隊として派遣された経験を活かした企画「南極へ行こう！！」を開催いたしました。ブリザード体験やVRスコープを使用して昭和基地からの風景等を360度パノラマで見る体験、雪上車の屋外展示など、子どもたちから大人まで幅広い方に南極の魅力、南極観測の様子などを楽しんでいただいたのではないかと感じております。

また、秋冬には、最新のデジタルテクノロジーを使い、全身で遊びながら学ぶことのできる特別展「チームラボアイランド 踊る！アート展と、学ぶ！未来の遊園地」を開催いたしました。特別展としては当館始まって以来、歴代最多の入場者数17万人を超える方にお越しいただき、これまでの特別展と比べ、大人や高校生、大学生の割合が多く、科学館としても新たな客層を誘致することができた、大変意義のある特別展となりました。

常設展示室では、生命館4階の展示更新工事に着手し、5年計画の1年目として、「人体のふしぎ」というフロア名称で部分的にオープンいたしました。今後1年ごとに、楽しく体験しながら学べる展示を順次整備してまいります。

さて、平成28年度の科学分野では、26年、27年に引き続き日本人のノーベル賞受賞者が3年連続で誕生いたしました。「オートファジーの仕組みの解明」によりノーベル生理学・医学賞を受賞された、東京工業大学の大隅良典特任教授は、愛知県の基礎生物学研究所で長年研究を重ねてこられた方であり、こうした地元愛知の研究者が受賞されたことは大変喜ばしいことです。

今後も市民の皆様に愛される魅力的な施設であり続けるよう努めてまいりますので、引き続き当館の運営に格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年8月

名古屋市科学館
館長 瀬瀬 満

科学館の基本理念

- 1 科学の原理と応用を理解し、そのおもしろさ、楽しさを知っていただく。
- 2 人間と科学技術との関わりを考えていただく。
- 3 社会的に関心の大きい問題について科学技術的な理解をはかる。
- 4 市民に科学を通じた生涯学習の場を提供する。

名古屋市科学館では、この基本理念にもとづき、展示、教育普及の諸活動を行うとともに、学校教育との連携、市民科学活動の推進をはかっています。

科学館マスコットキャラクター



「愛称＝アサラ」

アストロ (ASTRO) 宇宙

サイエンス(SCIENCE) 科学

ライフ (LIFE) 生命

の頭文字を取って付けた愛称です。

* 制作意図

形にとらわれない自由な発想によるキャラクター。

見る人の自由な発想によって、宇宙に存在するであろう未知の生物であったり、原子やエネルギーに見えたり、また、生命の源やアメーバであったりする。

青少年の科学に対する興味や関心をやさしく高めるよう、楽しくかわいいマスコットキャラクターとした。

制作者:鈴木 勝さん

科学館シンボルマーク



* イメージ

無限に広がる宇宙の片隅に存在する青い惑星－地球

そこには、生命・物質・エネルギーさまざまなものが自然のうちに調和している。

人間は英知(科学とその技術)を持った生命として、この地球に生まれてきた。

人間は、自然のバランスをそこなわず、英知をもって幸福に暮らしていかなければならない。

制作者:竹中 香奈子さん

目

はじめに

科学館の基本理念

施設の概要

- 1 沿革 1
- 2 組織 3
 - (1) 組織及び職員構成 3
 - (2) 諮問機関 4
- 3 施設概要 5
 - (1) 各館の概要 5
 - (2) 建築概要 6
 - (3) ネーミングライツの導入 6
 - (4) 施設・設備概要 6

平成 28 年度事業の概要

- 1 展示事業 8
 - (1) 常設展示 8
 - (2) 大型展示 8
 - (3) 各種実演・ショー 9
 - (4) スペシャル実演 10
 - (5) 話題の科学 11
 - (6) Multilingual Audio Guide 12
- 2 特別展及び企画展 13
 - (1) 特別展「恐竜・化石研究所」 13
 - (2) 特別展「南極へ行こう！！」 13
 - (3) 特別展「チームラボアイランド 踊る！
アート展と、学ぶ！未来の遊園地」 14
 - (4) 企画展「磁石とモーター」 14
 - (5) 特別展「恐竜の大移動」 15
- 3 プラネタリウム投影 16
 - (1) 一般投影 16
 - (2) ファミリーアワー 16
 - (3) 学習・幼児投影（学校等団体向け） 16
 - (4) 特別投影 17
- 4 教育普及事業 18
 - (1) 天文分野 18
 - (2) 理工分野 19
 - (3) 生命環境分野 21
 - (4) その他イベント 25
 - (5) 出前ミュージアム(その道の達人
派遣事業)及び館外事業 26

次

- (6) ボランティアの養成及び活用 28
- (7) 科学館友の会 32
- (8) 名古屋少年少女発明クラブ 33
- (9) コンクール事業 36
- (10) 博物館実習生の受入れ 36
- (11) 職場体験・職場訪問など 37
- 5 調査研究 38
- 6 印刷物の発行 39
- 7 広報活動 39
- 8 他施設との交流 40
 - (1) 国内活動 40
 - (2) 国際活動 40
 - (3) 研修生受入れ 40
 - (4) 視察受入れ 40
 - (5) 芸術と科学の杜 40
 - (6) 研究機関等との相互協定 42
- 9 高校生学力向上促進事業 42
 - (1) 燃料電池自動車プロジェクト 42
 - (2) 高校生による科学の祭典 2016 42
- 10 その他 43
- 11 研修・講座等 43
- 12 情報収集保存活動 46
 - (1) 情報資料室 46
 - (2) インターネット 46
- 13 平成 28 年度入館者の状況 47
 - (1) 月別利用状況(個人・団体別) 47
 - (2) 入館者月別利用状況(利用種別) 47
 - (3) 団体地域別入館者数 48

参考資料

- 1 年度別入館者数 49
- 2 常設展示品 51
- 3 年度別決算 56
- 4 展示協力 59
- 5 特別展及び企画展 62
- 6 観覧料の変遷 66
- 利用案内 68
- 名古屋市科学館条例 69
- 名古屋市科学館条例施行規則 72

施 設 の 概 要

1 沿 革

名古屋市科学館は市制施行 70 周年記念事業の一環として、昭和 37 年 11 月に天文館が建設され、その後、昭和 39 年 11 月に理工館が、平成元年 4 月に生命館が開館し、総合科学館として平成 24 年 11 月 3 日に開館 50 周年を迎えた。平成 23 年 3 月には、老朽化していた天文館・理工館を改築し、世界最大のプラネタリウムと 4 つの大型展示を備えた新たな施設として開館し、11 月には屋外展示及び外構工事の完了をもって、新館整備に係る全ての工事が終了しグランドオープンした。

昭和 33. 9. 25	科学館建設調査委員会初会合	11. 5. 7	秋篠宮文仁親王殿下特別展ご視察
35. 12. 16	第 1 期工事(天文館)建設着工	12. 3. 14~16	アジア太平洋地域科学館協会総会等開催
36. 1. 11	起工式挙行政	12. 11. 11	入館者 2,000 万人達成
36. 11. 1	科学館開設準備室設置	14. 4. 1	発明発見創造クラブ設立(~19. 3. 31)
37. 8. 10	市立名古屋科学館条例公布・施行	14. 10. 25	文部科学省科学系博物館教育機能活用推進事業受託
37. 10. 31	第 1 期工事(天文館)完工	15. 3. 27	フランス国立「パリ発見の宮殿」と交流計画に関する合意書調印
37. 11. 1	開館式挙行政	16. 12. 23~25	ロボットサッカー国際交流会開催
37. 11. 3	天文館一般公開	17. 3. 2	「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
38. 6. 29	第 2 期工事(理工館)建設着工	17. 7. 25~29	万博ロボットサッカー国際交流会開催
39. 10. 30	第 2 期工事(理工館)完工	18. 1. 25	「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
39. 11. 1	理工館一般公開	19. 2. 7	「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
40. 9. 29	上原科学技術庁長官視察	20. 10. 1	理工館・天文館改築工事着工
42. 4. 1	博物館相当施設に指定	21. 5. 16	入館者 2,500 万人達成
47. 4. 1	総務局から市民局へ移管	22. 9. 1~	理工館・天文館改築に伴う休館
47. 11. 1	開館 10 周年記念式典挙行政	22. 10. 11~31	生物多様性条約第 10 回締約国会議開催に伴い生命館を開館
50. 10. 11	アメリカ合衆国カリフォルニア科学産業博物館と姉妹博物館提携	23. 3. 19	理工館・天文館一般公開
53. 8. 20~24	国際プラネタリウム館長会議(IPDC)開催	23. 4. 1	国立極地研究所との相互協力に関する協定を結ぶ
55. 4. 1	市民局から教育委員会へ移管	23. 10. 4	新館入館者 100 万人達成
56. 11. 21	西館建設調査委員会初会合	23. 11. 6	新館グランドオープン記念式典挙行政
57. 11. 1	開館 20 周年記念事業開催	23. 12. 12	世界最大のプラネタリウム「Brother Earth」がギネス世界記録に認定
60. 1. 20	入館者 1,000 万人達成	24. 3. 19	名古屋大学理学部との相互協力に関する協定を結ぶ
60. 3. 20	65 cm反射望遠鏡設置	24. 5. 1	名古屋大学情報文化学部との相互協力に関する協定を結ぶ
61. 9. 3	生命館建設着工	24. 7. 16	新館入館者 200 万人達成
63. 11. 30	生命館完工	24. 7. 18	(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)と相互協力に関する協定を結ぶ
63. 12. 2	シンボルマーク及びキャラクター(アサラ)決定	24. 8. 10	「芸術と科学の杜」シンボルマーク決定
平成元. 4. 28	生命館開館記念式典挙行政	24. 11. 3	名古屋市科学館開館 50 周年記念式典挙行政
元. 4. 29	「市立名古屋科学館」を「名古屋市科学館」に名称変更	25. 3. 26	名古屋大学博物館と相互協力に関する協定を結ぶ
	生命館一般公開	25. 4. 1	名誉館長に益川敏英氏(ノーベル物理学賞)就任
元. 6. 14	三笠宮崇仁殿下ご視察	25. 9. 29	中京大学人工知能高等研究所と相互協力に関する協定を結ぶ
元. 7. 25	高円宮憲仁親王殿下並びに久子妃殿下ご視察	26. 1. 19	入館者 3,000 万人達成
	博物館登録	26. 8. 27	新館入館者 500 万人達成
2. 1. 22	博物館登録	28. 3. 29	名古屋市立大学との連携協力に関する覚書を結ぶ
3. 4. 7	皇太子徳仁親王殿下ご視察		
4. 11. 1	開館 30 周年記念式典挙行政		
5. 7. 24	入館者 1,500 万人達成		
6. 3. 24	受変電設備火災事故発生 翌日(3. 25)から休館		
6. 7. 1	火災事故復旧工事完了・開館		
9. 7. 29	文部省科学系博物館活用ネットワーク推進事業受託		
9. 8. 2	高円宮憲仁親王殿下並びに久子妃殿下ご視察		
10. 10. 22	科学技術振興事業団・科学館整備モデル事業受託		

歴代館長

(敬称略)

館長名		期間
初代	清水 勤二	昭和 37 年 8 月 10 日～ 昭和 39 年 5 月 31 日
第 2 代	杉戸 清	昭和 39 年 6 月 1 日～ 昭和 40 年 6 月 15 日
第 3 代	久垣 中陽	昭和 40 年 6 月 16 日～ 昭和 46 年 4 月 30 日
第 4 代	今城 栄次郎(助役・事務取扱)	昭和 46 年 5 月 1 日～ 昭和 47 年 1 月 9 日
第 5 代	佐藤 知雄	昭和 47 年 1 月 10 日～ 昭和 61 年 3 月 31 日
第 6 代	岡田 博	昭和 61 年 4 月 1 日～ 平成 4 年 12 月 31 日
第 7 代	樋口 敬二	平成 5 年 1 月 1 日～ 平成 17 年 3 月 31 日
第 8 代	岡田 大(教育長・事務取扱)	平成 17 年 4 月 1 日～ 平成 18 年 3 月 31 日
第 9 代	柳田 博明	平成 18 年 4 月 1 日～ 平成 18 年 11 月 20 日
第 10 代	岡田 大(教育長・事務取扱)	平成 18 年 12 月 1 日～ 平成 19 年 3 月 31 日
第 11 代	石丸 典生	平成 19 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 3 月 31 日
第 12 代	瀨瀬 満	平成 26 年 4 月 1 日～

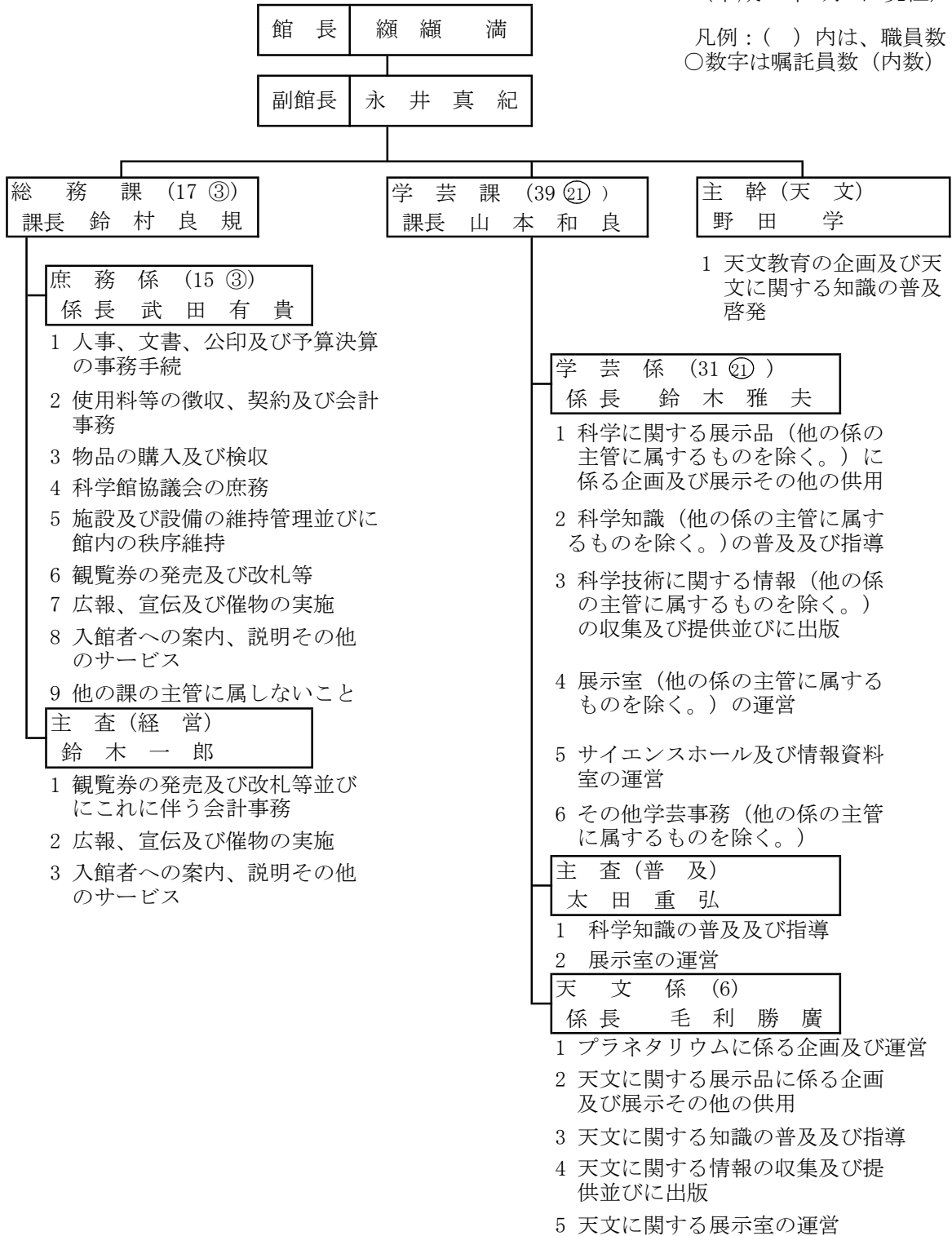
名誉館長	益川 敏英	平成 25 年 4 月 1 日～
アドバイザー	石丸 典生	平成 26 年 9 月 1 日～

2 組織

(1) 組織及び職員構成

(平成29年4月1日現在)

凡例：() 内は、職員数
○数字は嘱託員数 (内数)



〔職種別職員構成〕

職名	職種	行政職 (事務)	行政職 (技術)	社会教育 主事	学芸職	非常勤 特別職	嘱託員	計
館長						1		1
副館長		1						1
主幹					1			1
総務課		12	2				3	17
学芸課		2		2	14		21	39
計		15	2	2	15	1	24	59

(2) 諮問機関

① 名古屋市科学館協議会

博物館法及び名古屋市科学館条例に基づいて設置されており、科学館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対し意見を述べる機関とされている。

科学館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命しており、条例により、定数は15人以内で、任期は2年とされている。

(敬称略)

氏名	役職名	氏名	役職名
寺崎 由希子	名古屋市立砂田橋小学校長	横山 清子	名古屋市立大学大学院 芸術工学研究科教授
大塚 とよみ	愛知県立千種聾学校長	直江 知樹	(独)国立病院機構 名古屋医療センター院長
長谷川 信孝	愛知県私学協会副会長	束村 博子	名古屋大学大学院 生命農学研究科教授
青山 淑子	名古屋市地域女性団体 連絡協議会理事	内藤 弘康	名古屋商工会議所副会頭
草間 忍	名古屋市立小中学校 PTA協議会理事	加藤 宏幸	(株)中日新聞社名古屋本社 事業局長
伊藤 洋介	(公募)	中野谷 公一	日本放送協会名古屋放送局長
		神崎 修三	(公財)中部科学技術センター 専務理事

[平成29年7月21日現在]

② 名古屋市科学館企画調査委員

科学に関する資料及び装置(科学館資料)に関し、調査研究を行い、もって科学館の充実を図るため、設置されており、委員は、館長の依頼を受け、科学館資料の収集及び展示の調査研究並びにその他科学館資料の専門的事項の調査研究に関することを処理するとされている。

委員は、教育委員会が選任している。

(敬称略)

氏名	役職名	氏名	役職名
水谷 法美	名古屋大学大学院 工学研究科教授	金田 英宏	名古屋大学大学院 理学研究科教授
長谷川 明生	中京大学工学部 情報工学科教授	吉田 英一	名古屋大学博物館 資料基盤研究系教授
伊藤 清治	名古屋市工業研究所 材料技術部部長	森 健策	名古屋大学大学院 情報科学研究科教授
天野 浩	名古屋大学未来材料・システム研究所 未来エレクトロニクス集積研究センター長	清水 裕彦	名古屋大学大学院 理学研究科教授
成瀬 清	基礎生物学研究所准教授	浅野 みどり	名古屋大学大学院 医学系研究科教授
北原 政子	おんたけ休暇村天文館館長	赤津 裕康	名古屋市立大学大学院 医学研究科特任教授
寺田 光宏	岐阜聖徳学園大学 教育学部教授	遠藤 守	名古屋大学大学院 情報科学研究科准教授

[平成29年8月1日現在]

3 施設概要

当館は昭和 37 年に「天文館」、昭和 39 年に「理工館」、平成元年に「生命館」を開館した。天文館と理工館は平成 22 年 8 月をもって閉館し、改築整備を進めてきた新館を含めた新たな施設となった。改築後の科学館も従来と同じ天文館、理工館、生命館という 3 館で構成している。

(1) 各館の概要

<理工館>

エントランスがあり、観覧者が最初に入館する施設。

2 階から 6 階までが常設展示室、地下に特別展・企画展等を開催するイベントホール、7 階に天文台、3 階と 7 階に休憩室がある。

常設展示室には、子どもたちの科学的な気づきを促す展示から、最先端科学を扱った展示があり、分野も科学技術全般に渡り幅広く取り扱っている。

通常の展示品のほか、2 階層の吹き抜けを用いた大型展示品も整備した。

<天文館>

主に球体の施設部分であり、4 階から 6 階までのフロアで構成されている。

4 階は実演を行うステージ、5 階は常設展示室、6 階にプラネタリウムがある。

プラネタリウムでは、幼児を含む幅広い年齢層を対象に、単に憧れとしての星空を眺めるだけではなく、天文知識や現象を正確に伝え、さらに、本当の星空にまで興味が広がるような番組構成・解説を行っている。

<生命館>

2 階から 5 階までが常設展示室。6 階に講座を開催する実験室や学習室、1 階に休憩室、地下にサイエンスホールがある。

常設展示室では、生命とは何かをあらゆる角度から総合的に解明しようとする生命科学をテーマに、「生命」「人体」「生活」及び「地球」のグループを設定し、この地球という惑星の上で、人類が豊かで健康な暮らしをするための問いかけをしている。

(2) 建築概要

区分	各棟別	理工館・天文館	生命館
敷地面積	13,661.95 m ²		
建築面積	4,263.62 m ²	3,063.80 m ²	1,199.82 m ²
延床面積	22,551.32 m ²	15,735.19 m ²	6,816.13 m ²
構造	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋	地上 7階	地上 9階
	コンクリート造	地下 2階	地下 2階
常設展示室	10室 6,515 m ²	6室 4,338 m ²	4室 2,177 m ²
開館日		H23.3.19	H元.4.29

(3) ネーミングライツの導入

対象施設：プラネタリウムドーム

愛称：Brother Earth (ブラザーアース)

権利内容：施設命名権、施設サイン掲出権等

ネーミングライツ・パートナー：ブラザー工業株式会社

契約期間：平成28年4月1日から平成33年3月31日

(4) 施設・設備概要

天文館	理工館	生命館	東館
プラネタリウム ブラザーアース 「Brother Earth」 【830 m ² (350席)】	天文台 【87 m ² 】	第2実験室 【120 m ² (36席)】	
プラネタリウム 制作室	7階休憩室 【187 m ² (96席)】	学習室 【102 m ² (54席)】	
サイエンスステージ 【173 m ² (66席)】	第1実験室 【115 m ² (48席)】	ボランティア 控室	
	3階休憩室 【251 m ² (84席)】		レストラン 【157 m ² (65席)】
	情報資料室 【97 m ² 】	1階休憩室 【385 m ² (170席)】	ミュージアム ショップ 【104 m ² 】
	イベントホール 【777 m ² 】	サイエンスホール 【440 m ² (320席)】	

□ 35m プラネタリウムドーム「ブラザー アース」

統合システム（全システムを統合・生解説用コンソール）

光学式プラネタリウム（ユニバーサリウム IX 型（名古屋市特別仕様））

デジタル式プラネタリウム（スカイマックス DS II-R2 SH-4K 6 台）

デジタルパノラマ（メディアグローブパノラマ SIM7Q 16 台）

補助投影システム（X700R 5 台）

音響システム（D-SICS）

補聴システム（赤外線、及び磁気ループ）

効果照明システム（スカイペイント）

通路 LED

レーザーシステム（アウロラ）

座席（350 席、全席リクライニング、左右 30° 回転）

□ プラネタリウム制作室（5m ドーム）

制作システム（SCD5）

□ 天文台

80cm カセグレン式反射望遠鏡

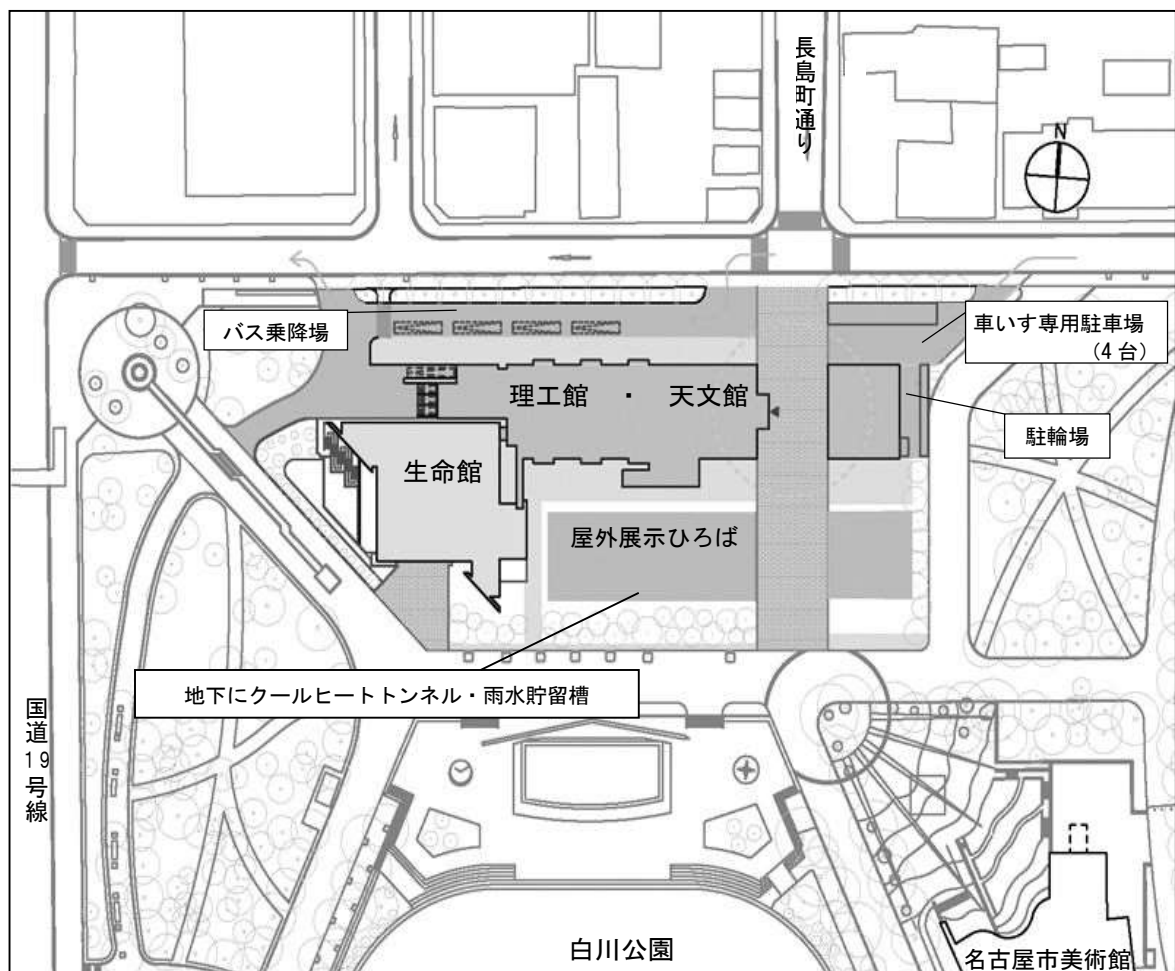
（周辺機器：20cm 屈折望遠鏡、デュアルワンダーアイ、スターイメージレイヤー他）

□ 星のひろば

15cm ケプラー式屈折望遠鏡 6 台、レーザーシステム一式

□ 30cm 太陽望遠鏡（太陽投影像 194cm）

（周辺機器：10cm 白色像用屈折望遠鏡、10cmH α 像用屈折望遠鏡、分光器他）



平成 28 年度事業の概要

1 展示事業

(1) 常設展示

科学との出会いから、身近なくらしへ、そして宇宙や地球内部へと、科学に対する興味を広げていくようにテーマを設定している。

館	展 示 室 名	展 示 内 容
天文	5階 宇宙のすがた	広大な宇宙のスケールを実感するとともに、宇宙の姿とその不思議を紹介
理工	2階 不思議のひろば	「みる・きく・さわる・うごかす」といった体験を通して、科学の不思議さや楽しさとの出会いの場を演出する
	3階 技術のひろがり	身のまわりにある機械の仕組みや、ものづくりの知恵を科学の視点で紹介
	4階 科学原理とのふれあい	波動、電磁気、運動など自然界の原理や法則について紹介
	5階 物質・エネルギーのせかい	暮らしを支える材料、エネルギーや、物質を構成する原子・分子について様々な視点で紹介
	6階 最先端科学とのであい	地球環境を理解するため、宇宙と地下に挑む科学のフロンティアを紹介
生命	2階 地球のすがた	地球上で見られる現象や地球環境の歴史などについて紹介
	3階 生活のわざ	豊かな暮らしを送るための人間の「衣」、「食」、「住」とさまざまな生物とのかかわりを展示
	4階 人体のしくみ	複雑なメカニズムを持つ人体のしくみを探る展示
	5階 生命のひみつ	地球上の生物に共通する生命のしくみと、多様性の謎に迫ろうとする展示
	屋 外	風力発電装置、海底無人探査機、フランス水車蒸気機関車、市電、H-II B ロケット、きぼう

(2) 大型展示

館	大型展示	展 示 内 容
理工	2～3階 水のひろば	「雲、雨、川、海」による水の循環の表現や音と光を連携させた演出を観察するとともに、水を使った様々な実験をする。
	3～4階 竜巻ラボ	3本の柱からの横方向の風で回転流をつくり、上方より空気を吸い上げることで発生した巨大な竜巻を観察し、自然界のエネルギーを体感する。
	4～5階 放電ラボ	2基の大型テスラコイルから向かってくる放電により、ダイナミックな電気エネルギーを体感する。
	5階 極寒ラボ	マイナス 30℃の極低温空間で起こる現象を観察し、極地を疑似体験する。

(3) 各種実演・ショー

実演場所	名 称	実演・実験内容	平成 27 年度		平成 28 年度	
			回数 (回)	参加者数 (人)	回数 (回)	参加者数 (人)
理 工 館	2階	水の広場	水の循環と水の性質について知識を深める演出		来館者対象	
	3階	都市パノラマ	1,005	29,009	1,006	34,015
		竜巻ラボ	1,006	71,988	1,006	80,850
	4階	放電ラボ	1,743	92,464	1,716	89,916
	5階	極寒ラボ	3,364	72,381	3,373	72,287
天文館	4階	サイエンスステージ	1,127	76,387	1,125	78,159
生命館	5階	生命ラボ	402	5,399	411	6,135

(4) スペシャル実演

実演場所	事業名	開催期日	回数(回)	参加者数(人)
生命館5階 生命ラボ	のぞいてみよう！ミクロの世界	毎土日 各日2回	175	2,832
	生きものかんさつタイム ～ゾウリムシ ～プラナリア ～水の中の生きもの ～水の中の小さな生きもの ～ウナギの赤ちゃん	4/1～ 4/28 の平日 5/2～ 7/14 の平日 2/1～ 3/31 の平日 7/20～ 9/ 2 の平日 9/6～12/28 の平日 1/4～ 1/31 の平日	15 38 32 25 53 14	471 990 1,688 3,451 2,908 703
	「カーボンナノチューブを作ってみよう！見てみよう！」 共催：名古屋大学大学院理学研究科	5/2・7/18・9/22	7	178
	食虫植物ハエトリソウを観察してオリジナル電子ブックを作ろう 協力：基礎生物学研究所	5/22	1	19
	国際植物の日記念行事 「春だ！緑だ！植物だ！植物科学の現在と未来」 協力：理化学研究所	5/28・29	2	168
	皇學館大学連携事業 虫たちのからだを守るひみつ	11/19・20・26・27	12	224
	健康福祉局 中央卸売市場食品衛生検査所によるワークショップ ～「あなたの手の菌「見える化」しますよ！～手洗いで上手なお付き合い	12/27・1/5	6	517
	生命ラボスペシャル 触覚ラボ 「ミライ探検 さわりごこちのサイエンス」	1/9	3	61
	生命ラボ リニューアル5周年記念イベント「体験しよう！生命科学」 ～寄生蜂（きせいばち）の世界をのぞいてみよう ～体験しよう！タンポポのDNA鑑定 ～港防災センター出張防災教室-AR技術で災害医療を学ぼう	3/4 3/5 3/11	1 1 1	72 52 36

	～フクロウのペリットを解剖してみよう	3/12	1	61
	～光るミミズについて	3/18	1	63
	～動く！ツクシの胞子の観察	3/19	1	56
	～赤ちゃんとおへそとたいばん	3/20	1	62
	～キシリトールを身近に感じよう！	3/25	1	44
	～プチ生け花 de サイエンス	3/26	1	50
	生命ラボ リニューアル5周年記念イベント「のぞいてみよう！ミクロの世界」スペシャル			
	～アワビのひみつ	3/4	1	12
	～モルフォチョウの青色のひみつ	3/5	1	28
	～トリの羽のふしぎ	3/11	1	20
	～クジラのヒゲ	3/12	1	25
	～なっとうくう	3/18	1	25
	～竹のふしぎ	3/19	1	32
	～なっとうくう	3/20	1	29
	～砂の中にひそむ小さな生きもの	3/25	1	29
	～チョウを見てみよう	3/26	1	38

(5) 話題の科学 (理工館 6 階 コーナー)

コーナー	テーマ	展示時期
右	祝 ノーベル物理学賞受賞&青色 LED	26 年 12 月～
	TMT 望遠鏡	27 年 6 月～
	顔学へようこそ	27 年 8 月～
	速報 ノーベル物理学賞の号外展示 (中日新聞、読売新聞)	27 年 10 月～
	祝 ノーベル生理学・医学賞受賞&イベルメクチン	28 年 2 月～
	大西卓哉宇宙飛行士 ISS 長期滞在	28 年 7 月～
	新元素発見 113 番元素 「ニホニウム Nh」	28 年 11 月～
左	第 56 次南極地域観測隊概要	26 年 12 月～
	油井宇宙飛行士	27 年 7 月～
	祝 ノーベル物理学賞受賞&ニュートリノ振動	28 年 2 月～
	号外 ノーベル生理学・医学賞 オートファジー	28 年 10 月～
	祝 大隅良典博士 2016 ノーベル生理学・医学賞受賞	29 年 3 月～

(6) Multilingual Audio Guide (外国語音声案内サービス)

ネーミングライツパートナーであるブラザー工業株式会社の提供により、平成 26 年 11 月 5 日(水)から運用開始。

○サービス概要

- ・来館者自身のスマートフォンを利用した、外国語音声案内サービス。
- ・スマートフォンに専用の無料アプリケーションをインストールすることにより、対象の展示品に近づくだけで音声案内が自動再生される。
- ・科学館エントランスホールに専用アプリケーションダウンロード用の無料 Wi-Fi スポットを設置。

○対応言語

- ・英語

○対応展示

- ・理工館 3 階から 5 階の展示 29 点

2 特別展及び企画展

(1) 特別展「恐竜・化石研究所」

- ①開催趣旨 地球史の研究において、化石の調査は不可欠なものです。その化石がどのようにしてできるかは、これまでほとんど紹介されてきませんでした。本展では、「ティラノサウルス」などの恐竜の化石をはじめ、化石にはなりづらいとされる太古の生物の糞や皮膚の生痕化石、放散虫などのミクロの化石まで、国内外の貴重な標本を展示し、生物の化石化の謎を紹介しました。
- ②開催期間 3月19日(土)～6月12日(日) 開催日数 72日
- ③入場者 108,525人
- ④会場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主催 名古屋市科学館、読売新聞社、中京テレビ放送
- ⑥後援 日本古生物学会
- ⑦協賛 野田塾
- ⑧連携協力 名古屋大学博物館、名古屋市工業研究所
- ⑨展示協力 ロイヤルサスカチュワン博物館、ロイヤルティレル博物館、海洋研究開発機構、神奈川県立生命の星・地球博物館、奇石博物館、群馬県立自然史博物館、城西大学水田記念博物館大石化石ギャラリー、徳島県立博物館、中川町エコミュージアムセンター ほか
- ⑩入場料 大人 1,400円 [前売券 1,100円]
高校生・大学生 800円 [前売券 500円]
小中学生 500円 [前売券 200円]
- ⑪展示内容 ティラノサウルス・ティロサウルス・海ワニ(全身復元骨格)、世界最大のティラノサウルスなどの糞化石、ほぼ完全な体が残った魚の化石、結晶化したアンモナイトなど
- ⑫関連事業

内容	協力・講師	実施日	参加者数
化石クリーニングの実演	学芸員、瑞浪市化石博物館学芸員、名古屋大学博物館、ボランティア	3月19日(土)～6月12日(日)の土日祝日	特別展入場者
化石レプリカ作り体験	天草市立御所浦白亜紀資料館学芸員 廣瀬 浩司さん	4月9日(土)・10日(日)	72人
コハク磨き体験	東海化石研究会	5月14日(土)	74人

(2) 特別展「南極へ行こう！！～南極観測60周年記念特別展～」

- ①開催趣旨 日本が南極での研究や観測を始めてから、今年でちょうど60年。日本の南極観測隊は、今でも毎年南極へ行き、様々な成果を上げ続けている。本展は、実際に南極観測隊に参加した名古屋市科学館学芸員が企画したもので、南極とはどのような場所なのか、観測隊員たちはそこで何をしているのかについて、体験しながら学べる展覧会を行った。
- ②開催期間 7月16日(土)～9月4日(日) 開催日数 45日
- ③入場者 86,460人
- ④会場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主催 名古屋市科学館、中日新聞社、CBCテレビ
- ⑥特別協力 国立極地研究所
- ⑦協力 東京海洋大学水産資料館、名古屋港水族館、葛西臨海水族園、名古屋大学博物館、南極観測船ふじ、(株)前川製作所、ミサワホーム(株)、(株)中日映画社ほか
- ⑧協賛 県民共済愛知県生活共同組合、名古屋東急会

- ⑨入 場 料 大人 1,200 円 [前売券 1,000 円]
 高校生・大学生 700 円 [前売券 500 円]
 小中学生 500 円 [前売券 300 円]
- ⑩展示内容 第一次隊関係の資料(国旗、当時の道具など)、南極の岩石・化石・隕石、アザラシ・ペンギンなどのはく製、ブリザード体験コーナー、南極観測船「しらせ」船上映像など (VR SCOPE)、南極観測隊の野営装備一式、雪上車など

⑪関連事業

内 容	協力・講師	実施日	参加者数
第 16 回 丸善ゼミナール「南極へ行こう!!」出張トークイベント	丸善 学芸員	7 月 18 日 (月)	30 人
名古屋東急会 presents 親子チャレンジラボ 2016	名古屋東急会 学芸員	7 月 21 日 (木)	92 人
南極クラス	ミサワホーム(株)	7 月 23 日 (土)	200 人
南極教室	国立極地研究所	7 月 30 日 (土)	200 人
南極グルメ教室	元南極観測隊員・(株)極食代表 阿部幹雄さん	8 月 7 日 (日)	30 人

(3) 特別展「チームラボアイランド 踊る!アート展と、学ぶ!未来の遊園地」

- ①開催趣旨 チームラボアイランドは、最新のデジタルテクノロジーを使い、共創(共同的で創造的な)体験ができる、チームラボが進める教育プロジェクトである。本展は 2014 年 11 月から 2015 年 5 月まで東京・日本科学未来館で開催され、47 万人が来場した展覧会に、新作や季節を反映させたオリジナル作品を織り交ぜ、親子でアートを楽しむ!全身で遊びながら学ぶ!ことのできる展覧会を開催した。

- ②開催期間 11 月 12 日(土)~2 月 12 日(日) 開催日数 72 日

- ③入 場 者 176,081 人

- ④会 場 理工館地下 2 階 イベントホール

- ⑤主 催 「チームラボアイランド 踊る!アート展と、学ぶ!未来の遊園地」名古屋実行委員会(名古屋市科学館、中京テレビ放送、チームラボキッズ)

- ⑥特別協賛 株式会社キャリアカレッジジャパン

- ⑦協 賛 ライオン株式会社

- ⑧協 力 ペんてる株式会社

- ⑨入 場 料 大人 1,400 円 [前売券 1,300 円]
 高校生・大学生 800 円 [前売券 700 円]
 小中学生 500 円 [前売券 400 円]

- ⑩展示内容 「花と人、コントロールできないけれど、共に生きる」、「百年海図巻 アニメーションのジオラマ」、「つくる!僕の天才ケンケンパ」、「お絵かきタウン」、「つながる!積み木列車」、「クリスタルユニバース」など

⑪関連事業

内 容	協力・講師	実施日	参加者数
名古屋会場コスプレナイト		11 月 26 日(土)	75 人
クリスマス夜間延長	開場延長時間 午後 7 時 30 分まで	12 月 21 日(水) ~25 日(日)	※ 2,199 人

※午後 4 時 30 分以降の特別展入場者数

(4) 企画展「磁石とモーター」

- ①開催趣旨 洗濯機や掃除機など、家庭内の動く製品や、自動車にモーターが使用されている。こうしたモーターには必ず強力な磁石が使われており、二つは密接につなが

っている。現在の私たちの生活を支える磁石とモーターについて理解を深めていただくため、わかりやすく展示し紹介した。

- ②開催期間 9月17日(土)～9月25日(日) 開催日数8日
- ③入場者 13,360人
- ④会場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主催 名古屋市科学館
- ⑥協力 公益財団法人科学技術振興財団、名古屋工業大学ロボコン工房、名古屋工業大学次世代自動車工学教育研究センター／電気・機械工学専攻 小坂研究室、三菱電機株式会社名古屋製作所
- ⑦入場料 常設展観覧料で観覧可能
- ⑧展示内容 ネオジム磁石とパチンコ玉 3000個、空中に浮いた椅子、空中浮遊磁石、君もアーティスト、磁力くらべ、永久磁石製造マシン、磁石と磁界、立体磁力線観察キューブ、TVのタブーに挑戦、ぶら下がり電磁石、3極大型モーター、ネコの手発電機、コイン選別器、ワーテンホーフェンの振り子、ネオジム磁石と銅・アルミパイプ、銅円盤上の磁石浮上、電磁調理器、トムソンリング、永久コマ

(5) 特別展「恐竜の大移動～ティラノサウルス類と角竜の起源と進化～」

- ①開催趣旨 北アメリカは恐竜研究の中心地であり、そこから産出する最大級の肉食恐竜ティラノサウルスや角竜トリケラトプスは非常に人気が高い恐竜である。そしてその祖先はアジアに起源があり、北アメリカに渡って繁栄したといわれている。
本展では、アジアで出現した小型のティラノサウルスやトリケラトプスの祖先が、やがて北アメリカに渡り大型化する進化の道筋を、当時の大陸移動と関連付けて紹介した。
- ②開催期間 3月18日(土)～5月28日(日) 開催日数60日
- ③入場者 99,220人
- ④会場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主催 名古屋市科学館、読売新聞社、中京テレビ放送
- ⑥後援 駐日中国大使館
- ⑦協賛 野田塾
- ⑧特別協力 福井県立恐竜博物館
- ⑨展示協力 ニューメキシコ自然史科学博物館、^{せつこう} 江自然博物館、^{しよじょう} 諸城恐竜博物館、中国科学院古脊椎動物古人類研究所、天草市立御所浦白亜紀資料館、長崎市教育委員会
- ⑩入場料 大人 1,400円 [前売券 1,100円]
高校生・大学生 800円 [前売券 500円]
小中学生 500円 [前売券 200円]
- ⑪展示内容 レドンダサウルス・ティラノサウルス(全身骨格)・プシッタコサウルス(全身骨格)・トリケラトプス(全身骨格)・トリケラトプスの祖先の頭骨(10種類)・ビスタヒエヴェルソル(頭骨)(実物大ロボット)など

⑫関連事業

内容	協力・講師	実施日	参加者数
絵本作家・宮西達也さんと恐竜の世界	絵本作家・宮西達也さん	4月1日(土)・2日(日)	約500人
化石レプリカ作り体験	天草市立御所浦白亜紀資料館学芸員 廣瀬浩司さん	4月15日(土)・16日(日)	96人
コハクを磨いて昆虫化石を探そう!	東海化石研究会	4月23日(日)	118人

3 プラネタリウム投影

(1) 一般投影

一般を対象として今夜の夜空の星の探し方から幅広い天文のテーマを、月替わりでわかりやすく解説する。1回の投影時間は約50分。

月	テ ー マ	投影回数	月	テ ー マ	投影回数	
4	ニュートリノの謎をとく	109	10	国際宇宙ステーション	100	
5	太陽系の生命探査	98	11	宇宙138億年	98	
6	土星の環が見たい	95	12	クリスマスの星空	94	
7	七夕と天の川	98	1	星の誕生	93	
8	火星のふしぎな動き	105	2	X線でみる宇宙	93	
9	暦と名月	86	3	双子の星物語	114	
【参考】平成27年度投影回数=1,089回					計	1,183

※平成27年度は機器オーバーホールのため、9/25～10/23まで休演

(2) ファミリーアワー

家族連れや、初めてプラネタリウムをご覧になる方などにオススメの、プラネタリウムの基本が体験できるプログラム。今晚の星空から宇宙旅行までの楽しい内容となっている。

- ◇ テーマ 4/1～太陽系アドベンチャー 7/16～はるかなる星の世界へ
12/10～オリオンとすばるぼし 3/18～太陽系アドベンチャー
- ◇ 投影時間 土曜（春・冬休み） 14：00～
日曜・祝日・夏休み 11：20～，14：00～
平成28年度投影回数=247回
平成28年度観覧者数=83,740人

(3) 学習投影・幼児投影（学校等団体向け）

幼稚園児、保育園児、小学生及び中学生の団体向けの学習投影で、それぞれの学年等に
応じた内容のプログラムを編成し、わかりやすく解説する。

事業名・対象	内 容	期 間	投影回数	観覧者数(人)
幼児向け投影 (幼稚園・保育園 の年長児)	星座や星の物語などを補助投影機を 活用しながら構成し、幼児が楽しみな がら星の学習ができるように解説し ます。	5/11-7/20 (37日間)	69	21,591 (530園)
		3/1-3/10 (7日間)	13	3,926 (72園)
小 学 校 4年生向け	「冬の星座と太陽・月・星の動き」 プラネタリウムで星座を探したり、太 陽・月・星が時間とともに動いていく ようすを眺め、楽しみながら天体に関 心を持てるようなお話をします。	12/6～2/28 (28日間)	62	18,755 (261校)
小 学 校 6年生向け	「地球から宇宙へ」 太陽と月と地球の関係、太陽系のしく み、そして広大な宇宙の姿にふれ、宇 宙の中の人間について考えます。	9/27～11/24 (30日間)	54	16,196 (231校)

【参考】平成27年度

事業名	投影回数	観覧者数(人)
幼児向け投影	84	25,357 (588園)
小学校 4年生向け	53	18,086 (259校)
小学校 6年生向け	53	16,196 (228校)

(4) 特別投影

テーマについてじっくり解説する大人むけの夜間の特別投影と、聴覚障害者の方も健常者とともに鑑賞できるようにライブで解説を字幕で投影する投影。

① 夜間投影

18時30分からの大人むけプログラム。七夕やお月見など、その時々になんだ天文の話題を取り上げる場合と、同月の一般投影の内容を基本に映像演出や話題を加える場合がある。

開催期日	テーマ	参加者数(人)	開催期日	テーマ	参加者数(人)
5月13日	太陽系の生命探査	278	11月11日	宇宙138億年	285
6月3日	国際宇宙 ステーションの夜	223	12月23日	クリスマス の夜	279
6月4日		262	12月24日		273
7月7日	七夕の夜	261	1月13日	星の誕生	241
8月9日	旧暦七夕の夜	273	2月18日	オーロラ の夜	294
9月15日	お月見の夜	271	2月19日		285
【参考】平成27年度参加人数=3,397人				計	3,225

② 字幕付きプラネタリウム

プラネタリウム番組に字幕を付けて投影

◇ 対象 一般(聴覚障害者を含む)

◇ 開催期日 8/6, 1/28

◇ 参加者数 690人 【参考】平成27年度参加人数=690人

4 教育普及事業

(1) 天文分野

(講師：敬称略)

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
昼間の星をみる会 天文台の望遠鏡で昼間にみえる星を観望	4月10日(日)～ 3月26日(日) (24回)	14,928		○	
市民観望会 プラネタリウムでの講座の後、天文台の口径80cm大望遠鏡や「星のひろば」に設置した望遠鏡で、観望条件のよい天体をご覧ください	4月16日(土)～ 3月4日(土) (12回)	2,581			
木星と月をみる会	4月16日(土)	218			
木星と月をみる会	4月17日(日)	198			
木星をみる会	5月14日(土)	215			
木星をみる会	5月15日(日)	150		○	
木星と火星をみる会	6月11日(土)	243			
土星と火星をみる会	7月10日(日)	249			
土星と月をみる会	7月16日(土)	250			
土星をみる会	8月13日(土)	253			
月と二重星をみる会	10月9日(日)	232			
天王星をみる会	12月10日(土)	232			
月をみる会	1月8日(日)	98			
月と冬の一等星をみる会	3月4日(土)	243			
名古屋キワニスクラブ創立50周年記念事業 特別講演「育もう 子どもたちの夢と確かな未来を」 講師：宇宙航空研究開発機構(JAXA)前副理事長、国際宇宙航行連盟会長 樋口 清司 宇宙飛行士、日本宇宙少年団(YAC)アドバイザー 山崎 直子	7月9日(土)	300	名古屋キワニスクラブ		
第25回公開セミナー 天文学の最前線 「目ではみえない宇宙の姿」 ① 体験型研究室紹介 ② 講演会・座談会・プラネタリウム ③ 講演会・座談会 (高校生以上)	8月2日(火)～ 4日(木)	257 (科学館)	名古屋大学大学院 理学研究科		○
おんたけ天文教室 木曾御岳の雄大な自然の中にある名古屋市民おんたけ休暇村で天体観測を行う	8月27日(土)～ 29日(月)	54	(公財)名古屋市民休暇村管理公社		
プラネタリウムと星空観察会 (星空継続観察) 星空の見え方を継続観察することで、星をみえにくくしている光害の実態とその推移を調査する (小学4年～中学3年生と保護者)	7月24日(日)・ 1月29日(日)	39 19	名古屋市環境局		
あいちトリエンナーレ2016 特別連携事業 プラネタリウム×アートピア 「宇宙の音、星の音」 in Brother Earth	10月14日(金) 15日(土)	659	(公財)名古屋市文化振興事業団		

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
国立天文台講演会 第22回アルマ望遠鏡公開講演会 「アルマ望遠鏡で探る星と惑星の誕生」 講師：自然科学研究機構 国立天文台 チリ観測所教授 立松 健一 名古屋大学准教授 立原 研悟 名古屋大学准教授 深川 美里	11月26日(土)	225	自然科学研究機構 国立天文台		
第15回坂田・早川記念レクチャー 「タウニュートリノの発見」 講師：名古屋大学名誉教授 丹羽 公雄	12月17日(土)	277	名古屋大学大学院 理学研究科		○

(2) 理工分野

(講師：敬称略)

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共催者等	市費	連携
2016 愛知教育大学・名古屋市科学館連携講座 夢・科学-21 中学生のための化学実験講座 「科学的な考え方を学び楽しむ化学(科学)実験教室」 食品作りには化学が大活躍！ ～缶詰ミカンを作ろう～ 講師：愛知教育大学 戸谷義明教授・学生	7月9日(土)	23	愛知教育大学		
電子工作教室(ジュニアコース) 「フルカラーLEDで色をまなぼう」 (小学5・6年生)	7月22日(金)	22		○	
電子工作教室(親子コース) 「オルゴールごまをつくろう」 (小学3・4年生と保護者)	7月23日(土) 24日(日)	56 (28組)		○	
放射線ウォッチング 測定キットの組み立てと測定・実験 (教員・高校生)	7月26日(火) ～29日(金)	83	中部原子力懇談会		
ものづくり体験フェア 「チャレンジ!金属加工」 ① 文鎮づくり体験 (中学生) ② キーホルダーづくり体験 (来館者)	8月2日(火) 3日(水)	127 (内訳) 35 92	愛知県職業能力開発協会		

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共催者等	市費	連携
第19回リフレッシュ理科教室 「LEDで楽しい工作! Part2」 A. 「ゆらして発電☆ふみきりシグナル」 B. 「蛍光導波路☆ルミネサーベル」 C. 「振って光る☆LEDドラム」 ① 先生のための実験工作教室 (小中学校の教員) ② こどものための実験工作教室 (小学3年～中学生)	8月5日(金) 6日(土)	173 (内訳) 29 144	(公社)応用物理学会		
～ワクワク実験隊～「鉄の不思議教室」 放電実験や電磁石の実験、手作りカイロなど、鉄のおもしろい実験の体験 (小学校4～6年)	8月25日(木) (2回実施)	65	(一社)日本鉄鋼連盟		
夏休み親子写真教室 「ピンホールカメラを作り、撮影・現像しよう」 空き箱に小さな穴をあけてピンホールカメラを作り、白黒写真で撮影、現像、プリントをする (小学生と保護者)	8月26日(土) 27日(日) (4回実施)	35組 70 (小人35 大人35)	(公社)日本写真協会		
名古屋市科学館・中京大学連携講座 「最高の科学技術を子どもたちに！」 手作りアンテナで気象衛星写真をキャッチしよう! -大学教授と学ぶものづくり- (小学生と保護者)	9月10日(土)	37 (小人19 大人18)	中京大学・人工知能高等研究所		○
親子からくり教室 九代玉屋庄兵衛さんによる茶運び人形の実演とお話、茶運び人形の変身からくりを工作するワークショップ (小学生と保護者)	9月22日(祝)	14組 37	九代玉屋庄兵衛後援会		
楽しい鉄道模型 ボランティアが持ち寄ったいろいろな列車模型の走行	10月9日(日)・ 2月26日(日)	来館者	名古屋鉄道模型クラブ		
中京大学ソフトサイエンスシリーズ第37回 「IoTで変わる社会-インターネットがつなぐモノのひろがり-」 講師：東京大学大学院情報学環教授、ユビキタス情報社会基盤センター長 坂村 健	10月13日(木)	320	中京大学・人工知能高等研究所、中部経済同友会		○

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共催者等	市費	連携
日本中性子科学会 市民公開講座 0 番元素の使い方-中性子を利用したものづくりや医療- 「中性子で宇宙の誕生を覗く」 講師：名古屋大学 清水 裕彦 「こんなに利用されている中性子ビーム-リニア新幹線にも化粧品にも-」 講師：前・日本原子力研究開発機構 鈴木 國弘 「中性子でガンを治す-究極の放射線治療を目指して-」 講師：筑波大学 山本 哲哉	12月3日(土)	93	日本中性子科学会		
「サイエンスカフェ in 名古屋」@名古屋市科学館 名古屋市立大学×名古屋市科学館 サイエンスパートナーシップイベント 「授業からわかる先端科学～学校で学ぶ数学や理科が世界につながる～」 講師：名古屋市立大学大学院 システム自然科学研究科 准教授 片山 詔久	12月10日(土)	53	名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科		○
中京大学ソフトサイエンスシリーズ第38回 「人工知能研究の来し方、行く末-AIとITの研究と社会システムデザイン-」 講師：東京大学特任教授、公立ほこだて未来大学名誉学長、工学博士 中島 秀之	2月17日(金)	500	中京大学・人工知能高等研究所		○
第37回古川為三郎サイエンス講演会 「世界を照らすLED」 講師：名古屋大学 未来材料・システム研究所 未来エレクトロニクス集積研究センター センター長・教授 天野 浩	2月18日(土)	216		○	
キラキラ光る星座盤を作ろう LED の光でキラキラと輝く本格的な星座盤を作る (小学校5年生以上)	3月5日(日)	20	特定非営利活動法人ギガスター		

(3) 生命環境分野

(講師：敬称略)

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共催者等	市費	連携
第43回「化石を語る」文化講演会 「たねをつける植物の歴史となりたち」 講師：金沢大学 准教授 山田敏弘	4月29日(祝)	130	東海化石研究会 中日新聞社		

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共催者等	市費	連携
かがくゼミナール 「タンポポから考える生物多様性」 2回連続講座 講師：愛知教育大学教授 渡邊 幹男 (小学生以上)	5月7日(土)・ 5月8日(日)	27 (小人11 大人16) 26 (小人11 大人15)		○	
第15回ヒメボタルサミット in 愛知 基調講演「これまでのヒメボタル研究の歴史と現状」 講師：大場蛭研究所・神奈川大学客員教授 大場信義 パネル討論会「ヒメボタルの現状と未来」	5月15日(日)	92	「ヒメボタルサミット in 愛知」実行委員会		
DNAの紙模型を親子で作ろう DNAの紙模型を製作 (小学生と保護者)	5月21日(土)	42	一般財団法人言語交流研究所ヒッポファミリークラブ		
フィールドセミナー 地球教室 学習した後現地で実習する2日連続講座 (小学3年生～中学3年生と保護者)		120 (内訳)			○
①ナゴヤで化石を探そう (名古屋大学博物館、名古屋駅周辺と栄地区)	5月21日(土) 22日(日)	29	名古屋大学博物館		○
②鍾乳洞の正体をあばこう！ (名古屋大学博物館、郡上八幡美山鍾乳洞)	8月27日(土) 28日(日)	32	協力 ・愛知大学名古屋一般教育研究室 ・蒲郡市生命の海科学館		○
③愛知県の石ピッチストーンってどんな石？ (名古屋大学博物館、新城市鳳来寺山)	10月22日(土) 23日(日)	27			○
④鉱物をさがそう！ (名古屋市科学館、蒲郡市生命の海科学館、三田石材(愛知郡西尾市)) (小学3年生～中学3年生と保護者)	2月18日(土) 19日(日)	32			○
学んで目指そうキッズ米(マイ)スター！ in 科学館 「お米とミツバチをつなぐフェアトレードのチカラ」 (中学生以下)	5月29日(日)	24	愛知商業高校ユネスコクラブ、フェアトレード名古屋ネットワーク		
第2回病院の機械を操作してみよう！ ～いのちのエンジニア体験 様々な医療機器の展示と操作の体験、関連する豆知識講座、展示ガイドツアーなど	6月25日(土) 26日(日)	4,488	(一社)愛知県臨床工学技士会		
第23回生きている地球の記録 2016年グリーンイメージ国際環境映像祭入賞作品上映会 「新地町の漁師たち」始め6本	7月24日(日)	170	(公財)三菱UFJ環境財団、中日新聞社、グリーンイメージ国際環境映像祭実行委員会		

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共催者等	市費	連携
おじゃま虫キャラバン 「ハチのからだを見てみよう」 ①標本作り講習会 ②昆虫標本などの展示	8月3日(水)	50 400	健康福祉局 生活衛生センター	○	
かがくゼミナール 「いのちをつなぐたいばん物語」 講師：名古屋大学名誉教授 鈴木和代さん と「ノーベルプラ座」のみなさん (小学校3年生～中学生と保護者)	8月21日(日)	32 (小人17・大人15)		○	
海洋底から巨大地震に迫る ・講座 「南海トラフ地震とは何か」 講師：名古屋大学教授・日本地震学会会長 山岡耕春 「海底を掘って東北地震の謎を探る」 講師：京都大学教授 モリ・ジェイムズ・ ジロウ 「海底ケーブルネットワーク (DONET) による プレート境界の監視」 講師：香川大学学長特別補佐 金田義行 ・教室 ① 日本地震学会 地震の教室(親子向け) 手作り地震計の制作 ② 日本地震学会 地震の教室(教員向け) 教材になる実験等の紹介	10月8日(土)	102 10組 21 15	(公社)日本地震学会		
かがくゼミナール 「くすりのなかみを見てみよう」 講師：名古屋市薬剤師会 長谷川 摂子 (小学3年～中学生と保護者)	10月23日(日)	23 (小人12・大人11)		○	
バイオカフェ 「新しいおコメをもとめて～従来の育種から ゲノム編集まで～」 講師：国立研究開発法人 農業・食品産業 技術総合研究機構 生物機能利用研究部門、 上級研究員 小松 晃	10月30日(日)	16 (小人2・大人14)	特定非営利法人暮らしとバイオプラザ2 1		
魅力あふれる生命科学の世界 名古屋市立大学×名古屋市科学館 サイエ ンスパートナーシップ締結記念イベント 「「生命科学を研究する」ってどんなこと？」 講師：薬学研究科講師 鈴木 亮 「ウイルスと宿主の進化的関係」 講師：システム自然科学研究科教授 鈴木 善幸 「脳細胞は再生する」 講師：医学研究科教授 澤本 和延 「太陽系の生命探査」 講師：当館学芸員 野田 学 監修：医学部特任教授 赤津 裕康	11月6日(土)	88	名古屋市立大学		○

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共催者等	市費	連携
藤田保健衛生大学 アセンブリ II 「人類の体は肺スペック」 藤田保健衛生大学 アセンブリ II 学生 9 名 によるワークショップ	11 月 13 日(日)	153	藤田保健衛生大学		
第 95 回 農芸化学会 サイエンスカフェ in 名古屋 「生活の中の身近な化学-酵素の不思議な働 き-」 講師：椋山女学園大学生生活科学部管理栄養 学科教授 間瀬民生	11 月 25 日(金)	38	(公財)日本農芸化学 会		
かがくゼミナール 「立体臓器モデルを作ろう」 講師：名古屋大学 情報基盤センター長・ 教授 森 健策 名古屋大学医学部附属病院消化器外科講師 伊神 剛 (小学 3 年～中学生と保護者)	12 月 23 日(祝)	28 (小人 15・大人 13)		○	
南極クラス・スペシャル in 名古屋市科学館 講師：ミサワホーム株式会社 井熊 英治 当館学芸員 小塩 哲朗	1 月 21 日(土)	101	協力：国立極地研究 所・ミサワホーム株 式会社		
かがくゼミナール 「くすりのなかみを見てみよう 漢方編」一薬 との上手なつきあい方 パート 13 講師：名古屋市薬剤師会 長谷川 摂子 (小学 3 年～中学生と保護者)	2 月 5 日(日)	30 (小人 15・大人 15)		○	
かがくゼミナール 「酵母の力でノーベル賞を獲る～酵素からオ ートファジーまで～」 講師：自然科学研究機構 基礎生物学研究所 助教 鎌田 芳彰	2 月 25 日(土)	35 (小人 4・大人 31)		○	
かがくの実験室 「タマネギの皮でハンカチを染めよう」 タマネギの皮を使ってハンカチ 2 まいをち がう色に染める。	3 月 20 日(祝)	56 (小人 28・大人 28) (2 回実施)		○	

(4) その他イベント

(講師：敬称略)

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共催者等	市費	連携
科学技術週間記念講演会 ①講演会 おもいがけないサイエンスとの出会い～ゲームみたいな数学の世界を探検しよう～ 講師：公益社団法人日本環境教育フォーラム ジャパン GEMS センター ②科学技術映像祭入選作品発表会 第 57 回科学技術映像祭参加作品「人工哺育アニーを群れに～東山・ゴリラ飼育日誌～」 文部科学大臣賞受賞作品「ガリレオ X オリガミと科学の出会い」	4月23日(土)	226	(公財) 中部科学技術センター		
青少年のための科学の祭典 2016 名古屋大会 会場：名古屋市科学館・でんきの科学館	10月1日(土) 2日(日)	3,758 (7,201) ()内はでんきの科学館含む	「青少年のための科学の祭典」名古屋大会実行委員会 (公財) 中部科学技術センター (公財) 日本科学技術振興財団・科学技術館 中日新聞社		

※連携…連携協定に基づくもの

(5) 出前ミュージアム(その道の達人派遣事業)及び館外事業

職員やボランティアが小中学校へ出向き、日ごろ学校では実施困難な大型機材を活用した科学実験ショー、身近な材料を使用した科学工作の指導及び学芸員によるオリジナルな資料等を使用した科学講座を展開し、ふだんと一味違った授業を行った。

①出前ものづくり工房(ものづくりボランティア)

テーマ	区	学校名	学年	月	日	曜	参加者数	ボランティア数
息をする人形	緑	黒石小学校	6	6	9	木	44	8
息をする人形	天白	植田小学校	6	6	14	火	97	12
びっくりへび	中	名城小学校	1	6	16	木	42	4
びっくりへび	千種	星ヶ丘小学校	1	6	21	火	81	4
ぱたぱたチョウ	中村	柳小学校	3	6	22	水	62	4
息をする人形	緑	鳴子小学校	6	6	23	木	52	8
浮沈子	緑	稲生小学校	4	6	28	火	89	4
浮沈子	南	笠寺小学校	4	6	29	水	61	4
息をする人形	天白	表山小学校	6	7	6	水	93	12
びっくりへび	天白	平針南小学校	1・2	7	12	火	68・59	7
びっくりへび	港	港西小学校	1・2	7	13	水	74・107	12
びっくりへび・虹の筒	昭和	鶴舞小学校	1・2	7	14	木	27・29	4
虹の筒	緑	太子小学校	2	10	4	火	65	3
ぱたぱたチョウ	中村	牧野小学校	3	11	16	水	45	4
虹の筒	緑	熊の前小学校	2	11	17	木	143	8
虹の筒	西	城西小学校	2	11	24	木	48	4
びっくりへび・虹の筒・ぱたぱたチョウ・浮沈子	中川	明正小学校	1・2・3・4	11	25	金	38・37・62・40	11
びっくりへび	西	平田小学校	2	11	30	水	95	8
びっくりへび	名東	西山小学校	1	1	13	金	253	12
ぱたぱたチョウ	南	伝馬小学校	3	1	17	火	53	4
びっくりへび	中	橘小学校	1	1	24	火	54	4
ぱたぱたチョウ	北	杉村小学校	3	1	25	水	36	4
びっくりへび・虹の筒・ぱたぱたチョウ	南	笠東小学校	1・2・3	1	31	火	66・56・49	8
びっくりへび	南	明治小学校	1	2	2	木	45	4
びっくりへび・虹の筒・ぱたぱたチョウ	瑞穂	瑞穂小学校	1・2・3	2	3	金	70・77・79	12
びっくりへび・からまり時計	昭和	伊勝小学校	1・5	2	8	水	58・50	8
びっくりへび・虹の筒・ぱたぱたチョウ	中川	戸田小学校	1・2・3	3	7	火	100・109・64	12
計				27回			2,777	189
平成27年度実績				25回			2,677	192

②出前サイエンスゼミナール（学芸員）

内 容	実 施 学 校 名	開 催 期 日	参 加 者 数 (人)
空気の花	太子小学校 4年生	6月21日(火)	81
	東志賀小学校 4年生	7月6日(水)	66
	長須賀小学校 4年生	7月7日(木)	70
	平針小学校 4年生	11月16日(水)	109
水素で走るクルマの話	如意小学校 4～6年生	10月28日(金)	22
雪の結晶をつくろう	片平小学校 4～6年生	10月12日(水)	40
プールのヤゴをすくおう	赤星小学校 3年生	5月6日(金)	85
	吹上小学校 5年生	6月1日(水)	45
宇宙の果ては？	春岡小学校 5年生	6月6日(月)	45
	稲生小学校 5年生	6月22日(水)	92
計		10回	655
平成27年度実績		12回	740

③トワイライト事業（運営員）

内 容	実 施 学 校 名	開 催 期 日	参 加 者 数 (人)	共 催 者
低温の実験・静電気の実験	東丘小学校	5月19日(木)	110	(公財)名古屋市教育スポーツ協会
	玉川小学校	10月13日(木)	48	
	大和小学校	10月27日(木)	31	
	日比津小学校	11月17日(木)	43	
	味鋤小学校	12月1日(木)	38	
	篠原小学校	2月23日(木)	43	
	猪子石小学校	3月2日(木)	43	
計		7回	356	
平成27年度実績		7回	321	

(6) ボランティアの養成及び活用

①天文ボランティア (ALC)

登録者数 136 人

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人)
【養成】 天文指導者養成講座 天文事業にボランティアとして協力できる人材を養成する講座で、参加資格は高校生以上(基礎講座5回・実技講座5回)。	9月24日(土) ~ 3月26日(日)	延べ 212
【活用(館内事業)】 天文指導者養成講座修了者を天文ボランティアとして活用		766
1) 市民観望会(12回)	4月16日(土) ~ 3月4日(土)	延べ 331
2) 昼間の星をみる会(24回)	4月10日(日) ~ 3月26日(日)	延べ 435
【活用(館内連携事業)】 名古屋市環境局との共催 星空継続観察	7月24日(日), 1月29日(日)	延べ 36
【活用(館外連携事業)】 (公財)名古屋市市民休暇村管理公社との共催		44
1) おんたけ天文教室	8月27日(土) ~ 29日(月)	11
2) おんたけ休暇村 夏の観望会	7月16日(土) ~18日(月), 7月23日(土) ~ 8月30日(火)	31
3) おんたけ子ども村スターウォッチング	10月8日(土) ~ 10日(月)	2
【研修等】 各天文事業の勉強会など	合計 19 日	延べ 154

②ものづくりボランティア 登録者数：137人

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア(人)
【養成】 ものづくりボランティア養成講座 ものづくり工房をはじめとして、各種事業において、実験工作などの学習支援者となるボランティアの養成(講座7回)で、参加資格は18歳以上。受講修了者のうち希望する者はものづくりボランティアとして登録	11月26日(土) ～ 2月4日(土)	20
【活用(館内事業)】 館の事業(ものづくり工房・ものづくり教室)の学習支援者として活動 (注)詳細は、別掲の「名古屋少年少女発明クラブ」の項に掲載	合計50回 4月～3月	200 (参加者数4,943)
1) ものづくり工房 毎週土曜日(夏・冬・春休みを除く)	合計40回 4月～3月	160 (参加者数4,696)
2) ものづくり教室 第3土曜日(8・3月を除く)	合計10回 4月～2月	40 (参加者数247)
【活用(館外連携事業)】 生涯学習施設、類似施設及び小中学校との連携事業の学習支援者として活動	合計42回 6月～3月	272 (参加者数3,622)
1) 生涯学習センターとの連携	合計5回	23 (参加者数136)
①名東生涯学習センター「地域ふれあい実践講座(名古屋市立貴船小学校)」	7月5日(火)	4(19)
②中川生涯学習センター「青年ふれあい日曜学校」	7月24日(日)	5(21)
③瑞穂生涯学習センター「親子科学工作教室」	11月13日(日)	4(40)
④南生涯学習センター「親子でミラクル☆サイエンス」	1月21日(土)	6(16)
⑤熱田生涯学習センター「親子科学工作教室」	2月12日(日)	4(40)
2) 類似施設との連携	合計2回	20 (参加者数148)
①とだがわこどもランド「科学工作教室」	7月16日(土)・3月20日(祝)	10(76)
②東邦ガス ガスエネルギー館「エコ教室」	9月25日(日)・2月19日(日)	10(72)
3) 出前ものづくり工房(マイスクールプラン)	合計3回	20 (参加者数257)
①鳴子小学校4年生「浮沈子」	6月15日(水)	4(60)
②植田小学校5年生「からまり時計」	1月18日(水)	12(85)
③稲生小学校3年生「ぱたぱたチョウ」	2月23日(木)	4(112)

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人)
4) 出前ものづくり工房 (出前ミュージアム) (注)詳細は、別掲の「出前ミュージアム」の項に掲載	合計 27 回 6 月～3 月	189 (参加者数 2,777)
5) 出前ものづくり教室 (名古屋少年少女発明クラブ) (注)詳細は、別掲の「名古屋少年少女発明クラブ」の項に掲載	合計 5 回 2 月～3 月	20 (参加者数 304)
【自主企画事業 (ものづくりひろば)】 ものづくりボランティアの自主企画事業として、休日・祝日・小中学校の長期休業期間等の来館者を対象に実施。同時にボランティアの研修の場ともしている。	合計 31 回 4 月～3 月	186 (参加者数 3,635)
【研修等】 総会 (定例会①)	4 月 9 日 (土)	104
定例会②	9 月 3 日 (土)	97
定例会③	2 月 4 日 (土)	110

③展示室ボランティア 登録者数：236 人

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人)
【養成】 展示室ボランティア養成講座 (2 時間 30 分×7 回) 常設展示等の説明・安全指導等を行うボランティアの養成講座参加資格：18 歳以上	1 月 13 日 (金) ～ 3 月 19 日 (日)	30
【活用】 1) 展示フロアでの活動 常設展示等の説明、常設展示等の利用にあたっての安全指導、常設展示等の運営の補助業務に活用	4 月 1 日 (金) ～ 3 月 31 日 (金)	延べ 4,438
2) ワゴン実演 サイエンスショー待ち時間などを利用して、磁石や偏光板を使いマジックショー仕立てでの説明	4 月 17 日 (日) ～ 3 月 26 日 (日)	延べ 43
3) タッチ&トーク 地質系の実物標本 (化石・岩石など) を来館者に解説しながら観察、触れてもらう機会を提供	4 月 2 日 (土) ～ 3 月 25 日 (土)	延べ 60
4) ウッディ・プレイランド 理工館 2 階ウッディ・プレイランドで、玩具の遊び方のデモンストレーション	6 月 25 日 (土) ～ 3 月 12 日 (日)	延べ 33

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人)
【研修等】		
総会	4月16日(土)	135
フォローアップ研修 第1～6回	4月～3月	延べ 702
ワゴン実演自主研修(月に1回程度)	4月～3月	24
タッチ&トーク自主研修(月に1回程度)	4月～3月	20
ウッディ・プレイランド自主研修(月に1回程度)	5月～3月	24

④B6 蒸気機関車整備ボランティア 登録者数：18人

屋外展示のB6型蒸気機関車の調査及び整備を行う。

開催日	参加ボランティア (人)
4月10日(日)	12(1)
5月8日(日)	11(3)
6月12日(日)	11(3)
9月11日(日)	13(3)
計(4回)	47(10)

※()…外書き 名古屋市立工業高校生

(7) 科学館友の会

昭和 38 年 4 月に発足した「名古屋星の会」と昭和 41 年 7 月に発足した「科学館友の会」を前身とする。昭和 53 年 4 月からは科学館振興協会の一部会として運営されていたが、平成 16 年 3 月の科学館振興協会の解散に伴い、平成 16 年 4 月から（公財）中部科学技術センターの協力のもとに運営されている。

①天文クラブ

会員数 1,022 人（一般クラス） 会費 4,000 円

(例会)

区分	一般クラス(高校生以上)
例会	年 6 回木・金曜日（年 6 回実施）
	18：30～20：00
1	高度化するロケット技術
2	カッシーニがみた土星の姿
3	私たちのいるところ
4	宇宙の音・星の音
5	重力波ことはじめ
6	外部講師講演会「ビックバン以前の宇宙は見えるか？」羽澄 昌史

(特別行事)

内 容	開催期日	参加者数 (人)
おんたけ天文教室〈名古屋市民おんたけ休暇村〉	8 月 27 日(土)～29 日(月)	54 (うち天文クラブ 10)
特別天体観望会 土星 午後 8 時～9 時	8 月 4 日(木)	92
月 午後 7 時～8 時	2 月 3 日(金)	105

(出版物) 機関紙「？」No. 188～193 発行

②サイエンスクラブ

会員数 448 人（小学生クラス：320 人 会費 7,000 円、中学生クラス：128 人 会費 8,000 円）

(例会)

区分	小学生クラス(小学 5・6 年生)	中学生クラス
例会	年 6 回 土・日曜日	年 6 回 土・日曜日
	A～C 10：00～12：40 (計 30 回実施)	A～C 10：00～12：40 (計 12 回実施)
	D、E 9：55～10：50 (計 2 回実施)	D、E 9：55～10：50 (計 2 回実施)
	S 10：00～12：00 (日曜日クラス対象) 14：00～16：00 (土曜日クラス対象)	S 10：00～12：00 (日曜日クラス対象) 14：00～16：00 (土曜日クラス対象)
A	羊の毛の性質を利用して布をつくろう	ふしぎな計算機
B	にぼしの解剖	有孔虫を探そう
C	導通テスター	岩石を顕微鏡で観察しよう
D	星うらないの星座たち	月世界へようこそ
E	宇宙人はいるか？	星の一生とブラックホール
S	サイエンススペシャル	サイエンススペシャル

(夜間観望会)

内 容	開催期日	参加者数 (人)
土星 午後 7 時 45 分～9 時 15 分	7 月 23 日(土)	659 (保護者含む)
月 午後 6 時 30 分～8 時	12 月 11 日(日)	605 (保護者含む)

(8) 名古屋少年少女発明クラブとの連携事業

平成14年度から18年度までの「発明発見創造クラブ」を、全国的な広がりをもつ「少年少女発明クラブ」に移行したものである。平成19年3月に設立された「名古屋少年少女発明クラブ」の主催者は名古屋市と一般社団法人愛知県発明協会で、事務局は名古屋市市民経済局産業部次世代産業振興課が担当している。

主に小中学生を対象にし、科学技術やものづくりに関心をもつ人材の育成を目的として、ものづくり体験事業を実施している。科学館では「ものづくり工房・教室」、「地球工房・教室」、「ロボット工房・教室」を実施している。また、「ロボカップジュニアなごや大会・なごやオープン」「ロボカップジュニア東海大会」の主催をしている。

①「ものづくりコース」

ものづくりの楽しさや、科学への興味、関心を高める。来館した小中学生を対象に、身近な素材を利用して簡単な科学工作を行う。ものづくりボランティアが学習支援を行い、ものづくりの大切さを知らせる。

1)ものづくり工房 (土曜日・無料)

月	工 作 内 容	日数	参加者数(人)	月	工 作 内 容	日数	参加者数(人)
4	宇宙コマ	4	470	11	スピッコップ	4	428
5	紙コップブーメラン	4	676	12	ツーリング・ダーツ	3	421
6	ケロびよん	4	452	1	ピンチでパッチン	4	460
7	どんぐりゆらゆら	3	351	2	クルクルひょうたん	4	438
9	ホバーかめさん	4	462	3	リングリングかざぐるま	3	234
10	ムービー・カード	3	304	計		40	4,696

【参考】 平成27年度開催日数 40日
平成27年度参加者数 4,728人

2)ものづくり教室 (第3土曜日等・有料)

開催期日	工 作 内 容	参加者数(人)	開催期日	工 作 内 容	参加者数(人)
4月16日	イルミネーション	32	11月19日	トコトコペンギン	26
5月21日	スコープ	32	12月17日		26
6月18日	ミラクル万華鏡	33	1月21日	パズル de サイエンス	15
7月16日		32	2月18日		16
9月17日	ういたりしずんだり	20	計		247
10月22日	上手なのだあれ?	15			

3)出前ものづくり教室

小中学校及び関係団体等との連携事業

場 所 及 び 内 容		開催期日	参加者数(人)
①御劔小学校2年生	「びっくりへび」	2月14日(火)	324 (うちボランティア20)
御劔小学校3年生	「ばたばたチョウ」		
②松原小学校2年生	「虹の筒」	2月15日(水)	
③穂波小学校3年生	「ばたばたチョウ」	2月21日(火)	
④相生小学校1年生	「びっくりへび」	2月28日(火)	
相生小学校2年生	「虹の筒」		
相生小学校3年生	「ばたばたチョウ」	3月2日(木)	
⑤平和が丘小学校3年生	「ばたばたチョウ」		

②「ロボットコース」

これからのものづくりに求められるソフトウェアに強い人材を育成する。ロボットの機械の動きを制御するプログラミング能力を高める。

1) ロボット工房 (毎月第1・第3日曜日・無料) ※参加者数は見学者を含まない

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	2	41	10	2	71
5	1	24	11	2	52
6	2	47	12	1	21
7	2	59	1	2	32
8	1	32	2	1	27
9	2	88	3	2	53
			計	20	547

【参考】 平成 27 年度開催日数 20 日
平成 27 年度参加者数 478 人

2) ロボット教室

- ・開催期日 毎月第3日曜日と8月9日(火)・10日(水)
- ・対象 小学校4年～中学生
- ・内容 ロボットの組み立て(初級者向け)
- ・参加費 17,000円

開催期日	参加者数(人)	開催期日	参加者数(人)
4月17日	8	9月18日	8
5月15日	8	11月20日	8
6月19日	7	1月15日	7
7月17日	8	2月19日	8
8月9・10日連続	20	3月19日	8
		計	90

【参考】 平成 27 年度開催日数 11 日
平成 27 年度参加者数 85 人

3) 発展型キロボ教室・ロボットステップアップ講座

- ・対象： 小学校4年～中学生
- ・内容： ロボットの組み立てとプログラミング(中級者向け)
- ・参加費： 無料

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	1	8	10	2	29
5	2	16	11	1	13
6	2	17	12	1	14
7	3	30	1	2	25
8	2	25	2	1	15
9	2	28	3	1	15
			計	20	235

【参考】 平成 27 年度開催日数 17 日
平成 27 年度参加者数 299 人

4) ロボカップジュニア大会

○ロボカップジュニア名古屋オープン 日本リーグビギナーズ

- ・開催期日 10月29日(土)
- ・会場 名古屋市科学館 イベントホール
- ・参加者数 小学4年～高校生(サッカーロボット経験者対象) 34人

※上位3チームが東海ブロック大会出場

- ロボカップジュニア名古屋大会 日本リーグビギナーズ
 - ・開催期日 10月30日(日)
 - ・会場 名古屋市科学館 イベントホール
 - ・参加者数 小学4年～中学生(サッカーロボット初心者対象。名古屋市科学館のロボット教室参加者や、名古屋少年少女発明クラブで支援している市内小中学校からも参加。) 43人
- ※サッカーA 上位4チームが東海ブロック大会出場

- ロボカップジュニア名古屋オープン ワールドリーグライトウェイト
 - ・開催期日 10月29日(土)
 - ・会場 名古屋市科学館 イベントホール
 - ・参加者数 平成29年7月1日で19才以下対象 11人
- ※上位2チームが東海ブロック大会出場

- ロボカップジュニア名古屋大会 ワールドリーグオープン
 - ・開催期日 10月30日(日)
 - ・会場 名古屋市科学館 イベントホール
 - ・参加者数 平成29年7月1日で19才以下対象 8人
- ※上位4チームが東海ブロック大会出場

- ロボカップジュニア東海ブロック大会
 - ・開催期日 12月10日(土)
 - ・会場 愛知工業大学名電高等学校 淳和記念館
 - ・内容 地区大会(名古屋大会始め7地区)から選抜されたチームが対戦し、日本大会選抜者を決定する。競技種目はサッカー・レスキュー・OnStageの3種目。
 - ・参加者数

サッカー	27チーム(55人)
レスキュー	32チーム(69人)
OnStage	5チーム(19人)

- ロボカップジュニア・ジャパンオープン2017 ぎふ・中津川
 - ・開催期日 3月25(土)・26日(日)
 - ・会場 東美濃ふれあいセンター多目的アリーナ
 - ・内容 競技種目はサッカー・レスキュー・OnStage・CoSpaceの4種目。当館チームはサッカーに出場。
 - ・当館からの参加者数

Nipponリーグサッカービギナーズ	3チーム(6人)
Worldリーグサッカーライトウェイト	2チーム(4人)
Worldリーグサッカーオープン	2チーム(4人)

③「地球コース」

鉱物や化石などを使ったものづくりを通して、観察することの楽しさや地球への関心を高める。
地球工房(毎週土・日曜日、祝日・有料)

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	10	546	10	7	392
5	12	703	11	4	269
6	6	446	12	5	356
7	11	710	1	9	506
8	11	859	2	6	387
9	9	503	3	9	511
			計	99	6,188

【参考】 平成27年度開催日数 96日 平成27年度参加者数 6,898人

(9) コンクール事業

事業名及び内容	募集期間	展示期間	区分	参加資格	応募数 (顕彰数)	
平成 28 年度 科学創作コンクール ①「科学の夢を描く部門」 (B3判 画用紙) ②「科学工作部門」 (科学的な考えを生かして 作った作品) ③「理科自由研究部門」 小3・4、小5、小6、中 1、中2、中3の6部門に 分け、観察や実験による理 科の自由研究レポートを 募集 以上3部門に分けて創作作品 を募集 ・応募作品の中から、優秀な作 品を顕彰し館内で展示 ・中日新聞社、(公財)中部科学 技術センター共催	8月30日(火) ~ 9月7日(水)	10月12日(水) ~10月20日(木) 表彰式 10月15日(土) (参加者244人)	絵画 部門	幼児 (3歳以上) 小・中学生 (個人)	210点 (30点)	
			工作 部門	小・中学生、 高校生 (個人又は グループ)	106点 (21点)	
			小3・4年	小学3年 ~中学生	111点	(48点)
			小5年		116点	
			小6年		110点	
			中1年		255点	
			中2年		290点	
中3年	213点					
計		1,095点				
第60回 日本学生科学賞愛知県展 ・観察や実験による理科の自由 研究のレポートを募集 ・応募作品の中から、優秀な作 品を顕彰し館内で展示 ・読売新聞社共催	10月13日(木) ~ 10月14日(金)	10月25日(火) ~10月30日(日) 表彰式 10月30日(日) (参加者70人)	物理	中・高校生、 個人、又は グループ	70点 (7点)	
			化学			
			生物			
			地学			
			一般			
			一般			

(10) 博物館実習生の受入れ

博物館法施行規則で定められた「博物館実習」を以下のように実施した。

趣 旨	生涯学習の場である科学館の役割を理解し、生涯学習の手法について学び、学芸員としての知識・技能・態度を身につける
実 習 期 間	7月30日(土)~8月10日(水) 合計10日間(8月1日(月)、8日(月)を除く)
実 習 生	愛知教育大学 3 琉球大学 1 東海大学 1 大阪教育大学 1 三重大学 1 合計 7人
実 習 内 容	名古屋市科学館及び常設展示、館内・事業見学、各種教育普及活動見学及び補助、広報活動、ボランティア、実演と説明業務、展示品の保守、天文の事業とプラネタリウム、自主企画、他施設見学など

(11) 職場体験学習・職場訪問学習など

①職場体験学習・職場訪問学習

総合的な学習や社会体験学習の一環として行われる職場体験学習・職場訪問学習を、各学校の依頼に対応して実施している。職場体験学習では、館内の接客業務や実演の準備、展示品の保守管理、資料の整理などの体験活動を行っている。また、職場訪問学習では、館の概要や館内の業務についての講義や質疑応答を行っている。

区 分	職場体験	職場訪問
小学校		1校 3人
中学校	8校 22人	11校 159人
高等学校	1校 2人	2校 59人
教 員	8校 9人	—

②大学からのインターンシップ受入

名古屋大学 博士課程大学院生 (1名) (5/14~9/30)

テーマ「生命科学の教育普及活動」

5 調査研究

(テーマ1) 地質に関する顕微鏡写真の展示および普及活動への活用

偏光顕微鏡や実体顕微鏡による観察は、岩石・鉱物を観察するために欠くことのできない手法である。顕微鏡下に広がる岩石や鉱物の世界は、見た目の美しさから、一般の方に対する興味喚起にも有効と考えられる。しかし、当館には、最近のコンピュータ画面に対応した高解像度の撮影ができなかった。そこで、顕微鏡写真を撮影・活用できる体制を整え、展示や普及活動に資する手法を検討した。今後、プレパラート製作などを進めて、顕微鏡写真が活用できる体制を整えていきたいと考えている。

(テーマ2) 極地映像の展示への活用に関する研究

理工館5階展示「極寒ラボ」は、マイナス30度を体験しながら極地について学べる展示である。ここには、過去の南極観測隊が撮影してきたオーロラや南極の風景などの映像が多数用いられている。

極寒ラボは平成23年3月の新館オープン時から公開されているが、展示の内容についてはそれ以来更新されていない。映像展示の更新は、1) 新しい映像の収録、2) 映像の編集、3) 展示に適したフォーマットへの調整、の3段階に分けられるが、南極の映像の場合は、通常1)の映像の収録が困難であり、購入するためには経費がかかる。

そこで、昨年度、第58次日本南極地域観測隊に参加した折に、展示で使用することを念頭において、各種映像を南極で収録し、極寒ラボで使われている映像を更新することを試みた。これらの映像を適宜編集し、展示での投影にふさわしいフォーマットに変換後、極寒ラボでの展示で使用する事が可能となった。

今後は、手持ちの映像資料を元に、定期的に新たな映像編集を行って展示を入れ替えることを検討していきたい。

(テーマ3) 全国のプラネタリウム学習投影実施状況の調査(2)

プラネタリウムでの学習投影は、1966年(昭和41年)の幼児投影、1968年(昭和43年)の小4投影、1974年(昭和49年)の中学投影とバリエーションを増やし、現在では、幼児、小4、小6、中学向けの投影をおこなっている。

学習投影では、実施施設のある都市の規模や、運用体制等により大きく異なる。また、学習指導要領の改訂や投影技術の進歩などに伴い、その内容も時代とともに変化してきている。そこで、各施設で実施されている投影の実施状況や内容などを調査することにより、当館における最適な投影内容を検討した。

6 印刷物の発行

名 称	内 容	発行部数	主な配布先
アサラスコープ No. 413～415	科学館広報誌 No. 413, 415 A 4版 8頁 No. 414 A 4版 4頁	70,000	別 掲
名古屋市科学館要覧 (平成 28 年度)	A 4版 75 頁	100	科学館ホームページにてPDFデータで公開(平成 24 年度～)
名古屋市科学館紀要 第 43 号	調査研究の報告 他 A 4版 41 頁	300	国内博物館施設 市内生涯学習施設 関係大学図書館等

「アサラスコープ」の主な配布先(配布場所)

市立小学校、16 区役所・6 支所、市立図書館、市生涯学習センター、市民情報センター、公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー 等

7 広報活動

種 別	内 容	実施時期	備 考
名古屋市による広報	名古屋市発行の「広報なごや」に館行事を掲載し、市民への周知に努めた	毎月	市内全戸配布 105 万部
マスコミへの広報	1) 市がもつテレビ・ラジオ番組に、資料を提供し、また、番組にも出演した	随時	新聞社 8 社 放送 8 社 通信 2 社
	2) 名古屋市政記者クラブを通して、広くPRを行った	随時	を始め出版、タウン情報誌など約 80 社
ポ ス タ ー	特別展について、地下鉄、私鉄、市広報板に掲出し、また、市内の学校などに送付した	随時	区役所、生涯学習センターなどの市民利用施設及び関係機関 約 650 か所
アサラスコープ	科学に関する解説や、館の行事予定などをまとめて配布した	年 3 回	(NO. 413) 25,000 部 (NO. 414) 20,000 部 (NO. 415) 25,000 部
案内パンフレット ・チラシ	行事ごとにパンフレット及びチラシを作成した(見学ガイド、7カ国語リーフレットほか)	随時	
他施設等の広報誌による広報	他施設の広報紙に資料提供し、広く市民に周知を図った(観光ガイド・生涯学習なごやなど)	随時	
ダイレクトメール	県内及び県外の小・中学校、観光旅行者にパンフレットを送付した	随時	
ホームページ	ホームページによる館の情報提供や行事案内を行った	随時	

8 他施設との交流

(1) 国内活動

同種施設との情報交換のほか、下記の協会及び協議会等に加盟し、関係会議、研究会に職員を派遣したほか、関係資料の収集に努めた。

- 全国科学博物館協議会 ○ 全国科学館連携協議会 ○ 指定都市科学館連絡会議
- 東海地区博物館連絡協議会 ○ 愛知県博物館協会 ○ 日本プラネタリウム協議会
- 天文教育普及研究会 ○ 日本天文学会 ○ 東亜天文学会

(2) 国際活動

下記の国際組織に加盟し、積極的に海外博物館資料の収集に努めた。

- 国際プラネタリウム協会 I P S

(3) 研修生受入れ

豊田市教育委員会より、実務研修生1名を受け入れた。

期 間 4月1日より1年間

研修内容 サイエンスクラブの企画・運営

科学講座、サイエンスステージ、イベント等の企画・運営

ものづくりボランティア、大学、企業等との協働による事業運営 等

(4) 視察受入れ

科学館の広報・誘致、科学館の展示・事業の企画、博物館施設等の整備・運営方法の検討等を目的とした、多数の国内外の視察者（博物館施設職員、他都市職員・議員等）を受け入れた。

(5) 芸術と科学の杜

白川公園一帯を「芸術と科学の杜」と位置づけ、地元町内会・商店街、専門学校、文化施設、名古屋市美術館と連携してさまざまな魅力ある事業の展開をした。

【28年度の主な取り組み】

5月12日（木）・13日（金）

- 買いにおいでデー

通常一般の方はご入店できない有名デパート・小売店への「卸問屋」にて買い物ができる2日間。

芸術と科学の杜事業の周知を図るため、訪れる方に地域の公共施設に関するクイズゲームを実施。

参加者数：593人

8月20日(土)・21日(日)

○ 広小路夏祭り

山車や音楽パレード、阿波踊りなど楽しいイベントでの夏まつりが盛り上がる、毎年2日間で50万人以上が集まる名古屋の夏の一大イベント。折り紙・ぬり絵の参加者に施設のグッズ等をプレゼントし、芸術と科学の杜の公共施設と触れ合う機会を提供。

参加者数：560人

9月

○ 芸術と科学の杜 探索マップ制作 (50,000部)

地元商店街と連携し、名古屋コミュニケーションアート専門学校の協力を得て制作。

飲食店以外にも事業所・まちなかアート作品・地域歴史情報も掲載。

9月24日(土)・25日(日)

○ メ〜テレ秋祭りへの参加

訪れた方に「おさげ髪の少女」の貼り絵をしてもらい、名古屋市美術館と科学館のチラシやオリジナルグッズとプレゼントした。

参加者数：1,400人

10月7日(金)

○ 科学館プラネタリウム特別投影会 参加者 210人

地元商店街向けにプラネタリウム特別投影を実施

11月5日(土)・6日(日)

○ アート大会 市美術館が企画・実施 参加者 のべ 1,746人

白川公園を会場として家族で楽しめるイベント(対象：来館者)

・スタンプラリー「スタンプラリーで彫刻を探そう」

・「アートなナゾとき」

・ワークショップ「レッツ手づくり写真！！」

○ 杜の駅@科学館 参加者 のべ 6,826人

・杜のステージ(バンド演奏・大道芸ほか)

・出店ブース(周辺の商店街・専門学校などがブースを出店)

○ まち歩きイベント 参加者 のべ 789人

・「古地図で発見！芸科の杜のヒミツ」

○エコパルなごや出張ワークショップ

開催日	参加者数(人)	開催日	参加者数(人)
5月22日(日)	257	1月22日(日)	118
6月26日(日)	95	2月5日(日)	811
9月25日(日)	169	3月26日(日)	192
12月18日(日)	228	計	1,870

(6) 研究機関等との相互協定等

平成 23 年 4 月 1 日	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所との相互協力に関する協定
平成 24 年 3 月 19 日	名古屋大学理学部との相互協力に関する協定
平成 24 年 5 月 1 日	名古屋大学情報文化学部との相互協力に関する協定
(平成 29 年 6 月 1 日	名古屋大学情報学部及び名古屋大学大学院情報学研究科に名称変更)
平成 24 年 7 月 18 日	独立行政法人宇宙航空研究開発機構との相互協力に関する協定
平成 25 年 3 月 26 日	名古屋大学博物館との相互協力に関する協定
平成 25 年 9 月 29 日	中京大学人工知能高等研究所との相互協力に関する協定
平成 28 年 3 月 29 日	名古屋市立大学との連携協力に関する覚書

9 高校生科学力向上促進事業

(1) 燃料電池自動車プロジェクト (平成 26 年度～28 年度)

公募で選ばれた高校生が、大学のセミナー、企業による研修などに参加しながら、科学の学習を深め、クリーンエネルギーで知られる燃料電池を製作して、一人乗り小型自動車に搭載し走行実験を行う。併せて、水素エネルギーに関する発展的な学習を通して、次世代の地域の産業を支える人材を育成する。

- 主催：名古屋市科学館、公益財団法人中部科学技術センター
- 共催：名古屋工業大学次世代自動車工学教育研究センター、中日新聞社
- 参加校 名古屋市立菊里高等学校、名古屋市立向陽高等学校、名古屋市立桜台高等学校、愛知県立旭丘高等学校 第 1 期生 39 人、第 2 期生 41 人

5 月 3 日(火)～ 5 日(木)	科学館実験セミナー	49 人
7 月 9 日(土)	特別授業(講師：丹羽幹、愛知工業大学客員教授)	11 人
7 月 16 日(土)～17 日(日)	名工大 CAD セミナー	26 人
7 月 25 日(月)～27 日(水)	調査研修(山梨大学他)	8 人
8 月 4 日(木)	燃料電池カート公開走行実験(科学館)	13 人
8 月 23 日(火)	調査研修(川崎重工業(株)研究開発部)	11 人
8 月 24 日(水)	調査研修(アイシン精機(株))	10 人
12 月 17 日(土)	研究発表会(科学館)	17 人
12 月 25 日(日)～29 日(木)	海外研究発表(国立台湾大学)	9 人

(2) 高校生による科学の祭典 2016

名古屋市内の公立高等学校の高校生たちが日ごろの研究成果を持ち寄り、来館者に発表(7 校 13 テーマ)。

日 時：1 月 29 日(日)
場 所：イベントホール
参加者：193 人

10 その他

(1) 第58次日本南極地域観測隊 夏隊への学芸員派遣

派遣者：小塩哲朗

派遣期間：平成28年11月27日（日）～平成29年3月23日（木）（117日間）

目的：1）気水圏隊員として大気関連研究観測事業に参加

2）特別展の企画及び常設展示「極寒ラボ」内容充実のための調査・取材

行動概要：平成28年11月27日 成田空港より出発
空路を経てオーストラリア・フリーマントル港で
南極観測船「しらせ」乗船
12月2日～21日 「しらせ」航上にて観測事業等に従事
12月22日～平成29年2月3日 南極大陸上「S-17 拠点」にて観測事業等に従事
2月4日～6日 「しらせ」船上にて観測事業等に従事
2月7日～10日 昭和基地にて観測事業等に従事
2月11日～3月21日 「しらせ」船上にて観測事業等に従事
3月22日 オーストラリア・シドニー港にて「しらせ」下船
空路を経て翌23日に羽田空港着、帰国

(2) B6型蒸気機関車の動態展示に向けた調査

屋外展示物、B6型蒸気機関車を外部整備工場での車両状態調査を行った。

期日：平成28年9月15日～平成29年3月31日

また、工場に運び出す前はB6蒸気機関車整備ボランティアの活動を行った。P31を参照。

11 研修・講座等

○ 名古屋市立大学特別講座

期日 4月22日（金） 参加人数 50人
講師 毛利勝廣
会場 プラネタリウム、天文台

○ 名古屋市理科教育研究会（講演会）

期日 5月7日（土） 参加人数 134人
講師 中京大学 小笠原豊
会場 サイエンスホール

○ 名古屋市理科学会（講演会）

期日 5月17日（火） 参加人数 37人
講師 山田吉孝
会場 サイエンスステージ

○ 名古屋芸術大学授業関連見学

期日 6月11日（土） 参加人数 20人
講師 尾坂知江子
会場 多目的室

- 向陽高校国際学科（名古屋市科学館研修）
 - 期 日 6月3日（金） 参加人数 40人（生徒37、教員3）
 - 講 師 小塩哲朗、山田吉孝、堀内智子、馬淵浩一、毛利勝廣
 - 会 場 学習室、第1実験室、プラネタリウム
- おんたけ休暇村キャンプカウンセラー研修
 - 期 日 6月18日（土） 参加人数 65人
 - 講 師 北原政子
 - 会 場 プラネタリウム
- 名城大学博物館学研修
 - 期 日 8月10日（水） 参加者数 20人
 - 講 師 尾坂知江子
 - 会 場 学習室、展示室
- 名古屋市小中学校生産・文化的部活動指導者研修会「科学」の部
 - 期 日 8月23日（火） 参加人数 38人
 - 講 師 尾坂知江子
 - 会 場 第2実験室
- 東海中学特別講座
 - 期 日 9月14日（水） 参加人数 417人
 - 講 師 西本昌司
 - 会 場 サイエンスホール
- あいち生涯学習・エクステンション研修会 夏季研修
 - 期 日 9月15日（木） 参加人数 12人
 - 講 師 堀内智子
 - 会 場 学習室、展示室、プラネタリウム
- 稲沢東高校SPP（サイエンス・パートナーシップ・プログラム）
 - 期 日 10月19日（水） 参加人数 34人（生徒31、教員3）
 - 講 師 山田吉孝、堀内智子
 - 会 場 第1実験室、展示室、プラネタリウム
- JST さくらサイエンスプログラム 日本・アジア青少年サイエンス交流事業
 - 期 日 10月22日（土） 参加人数 10人
 - 講 師 堀内智子
 - 会 場 展示室、プラネタリウム
- 愛知学泉大学博物館学経営論講座
 - 期 日 10月22日（土） 参加者数 4人
 - 講 師 鈴木雅夫
 - 会 場 学習室
- 東海地区高等学校化学研究発表会
 - 期 日 11月3日（祝） 参加人数 106人
 - 会 場 サイエンスホール
- 向陽高校普通科（名古屋市科学館研修）
 - 期 日 11月10日（木） 参加人数 320人

- 講 師 西本昌司、持田大作
会 場 サイエンスホール、プラネタリウム
- 愛知県高等学校教職員組合実習教育部、向陽高校理科教員特別講座
期 日 11月23日(水) 参加人数 27人
講 師 野田学
会 場 プラネタリウム、学習室
- 中京大学現代社会学部施設見学
期 日 11月26日(金) 参加人数 20人
講 師 尾坂知江子
会 場 多目的室
- 愛知県高等学校文化連盟 自然科学専門部 講習会〈名古屋市科学館 昼の観望会〉
期 日 11月27日(日) 参加人数 31人(生徒23、教員8)
講 師 小林修二
会 場 学習室、プラネタリウム、天文台
- 金城学院中学特別講座
期 日 12月7日(水) 参加人数 345人
講 師 小林修二
会 場 プラネタリウム、天文台
- 名古屋芸術大学学芸員養成課程施設見学
期 日 12月17日(土) 参加人数 8人
講 師 尾坂知江子
会 場 多目的室
- JST さくらサイエンスプログラム 日本・アジア青少年サイエンス交流事業
期 日 2月4日(土) 参加人数 19人
講 師 堀内智子、尾坂知江子
会 場 展示室、プラネタリウム、生命ラボ、特別展
- 愛知県高等学校文化連盟 自然科学専門部 研究発表会
期 日 2月5日(日) 参加人数 487人
会 場 サイエンスホール
- 愛知教育大学附属高等学校研修
期 日 2月7日(火) 参加人数 204人
講 師 西本昌司、尾坂知江子、毛利勝廣
会 場 サイエンスホール、プラネタリウム
- 龍谷大学政策学部特別講座
期 日 2月7日(火) 参加人数 13人
講 師 野田学
会 場 プラネタリウム、学習室
- 瑞陵高等学校特別講座
期 日 2月14日(水) 参加人数 42人
講 師 野田学
会 場 プラネタリウム、学習室

1 2 情報収集保存活動

(1) 情報資料室

科学に関する最新の資料の収集に努め、来館者の自発的な学習を支援するため、図書・雑誌・コンピュータソフト・映像資料などの資料を室内自由閲覧・自由使用に供した。

情報資料室データ

備 品	ソ フ ト	図 書 類
パソコン 6 台	ビデオソフト 956 本	図書 約 7,710 冊
インターネット用(5 台)	VHS (877 本)	雑誌 22 種
事務・調査用 (1 台)	DVD (115 本)	月刊誌 (10 種)
ビデオデッキ 4 台	CD-ROM 218 本	研究機関誌 (12 種)
VHS再生専用 (2 台)		新聞 1 紙
DVD・VHS複合機 (2 台)		全国科学館・博物館等資料 2,890 冊

(2) インターネット

名古屋市科学館では、平成7年度から館内コンピュータネットワークの整備と、そのインターネットへの接続を行い、各種情報の取得などに利用している。また同時に当館ウェブサイト (<http://www.ncsm.city.nagoya.jp/>) の公開も開始した。

平成23年3月19日の新館開館にあわせて、ウェブサイトの全面的な更新を行った。また、各フロア1台、計10台の情報検索端末を導入した。これらはタッチパネルのみで操作でき、日本語及び英語による展示解説の閲覧や展示品の検索ができる。また、ブラウザ機能を利用しているので当館ウェブページやその他のサイトの閲覧も可能である。

ウェブサイトアクセス件数と、情報検索端末アクセス件数は下表のとおりである。

(平成28年度)

月	ウェブサイト アクセス件数	情報検索端末 アクセス件数	月	ウェブサイト アクセス件数	情報検索端末 アクセス件数
4	266,324	6,249	10	317,225	3,757
5	346,275	5,478	11	337,089	4,009
6	368,459	4,403	12	261,481	3,266
7	329,919	5,748	1	180,401	4,416
8	317,946	7,275	2	340,110	3,601
9	376,678	3,501	3	371,063	4,227
			計	3,812,970	55,930

13 平成28年度入館者状況

(1) 月別利用状況 (個人・団体別)

(単位:人)

	入館人員	営業日数	1日平均	個人				団体※						
				大人	高大生	小人	計	大人	高大生	小人	計	市内	市外	電子申請
4月	93,465	25	3,739	55,478	4,152	27,251	86,881	2,056	932	3,596	6,584	991	3,799	1,794
5月	123,840	25	4,954	70,317	4,555	32,045	106,917	3,527	1,009	12,387	16,923	128	14,880	1,915
6月	96,145	25	3,846	49,743	3,230	23,516	76,489	4,019	1,117	14,520	19,656	191	18,284	1,181
7月	111,272	26	4,280	62,943	4,138	29,263	96,344	4,827	513	9,588	14,928	6,793	5,348	2,787
8月	189,767	27	7,028	103,280	9,544	63,403	176,227	6,317	573	6,650	13,540	3,090	4,313	6,137
9月	85,397	23	3,713	49,471	6,164	19,091	74,726	3,594	464	6,613	10,671	3,966	5,316	1,389
10月	85,556	25	3,422	43,130	3,235	17,676	64,041	4,073	595	16,847	21,515	9,606	10,461	1,448
11月	110,834	25	4,433	58,399	5,904	25,690	89,993	5,620	906	14,315	20,841	9,541	9,733	1,567
12月	123,122	23	5,353	69,703	11,343	29,357	110,403	3,014	486	9,219	12,719	7,124	3,705	1,890
1月	132,410	23	5,757	72,891	9,956	34,611	117,458	2,433	169	12,350	14,952	10,730	2,729	1,493
2月	109,835	23	4,775	58,421	11,874	23,732	94,027	2,376	803	12,629	15,808	10,415	4,293	1,100
3月	117,653	26	4,525	59,538	10,003	36,217	105,758	3,480	407	8,008	11,895	3,969	6,055	1,871
計	1,379,296	296	4,660	753,314	84,098	361,852	1,199,264	45,336	7,974	126,722	180,032	66,544	88,916	24,572
構成比 (%)	上段 個人・団体別			63%	7%	30%	100%	25%	4%	69%	98%	37%	49%	14%
	下段 全体での割合			56%	6%	26%	88%	3%	1%	8%	13%	5%	7%	2%

※団体には電子申請を含む

(2) 入館者月別利用状況 (利用種別)

(単位:人)

	展示室とプラネタリウム				展示室				合計				当月のプラ ネの割合	プラネの開館 以来の累計
	大人	高大生	小人	計	大人	高大生	小人	計	大人	高大生	小人	計		
4月	23,194	3,169	7,692	34,055	34,340	1,915	23,155	59,410	57,534	5,084	30,847	93,465	36%	18,364,566
5月	28,163	3,090	13,201	44,454	45,681	2,474	31,231	79,386	73,844	5,564	44,432	123,840	36%	18,409,020
6月	24,723	2,747	14,290	41,760	29,039	1,600	23,746	54,385	53,762	4,347	38,036	96,145	43%	18,450,780
7月	29,942	2,726	15,580	48,248	37,828	1,925	23,271	63,024	67,770	4,651	38,851	111,272	43%	18,499,028
8月	31,648	4,844	18,251	54,743	77,949	5,273	51,802	135,024	109,597	10,117	70,053	189,767	29%	18,553,771
9月	24,449	4,132	8,304	36,885	28,616	2,496	17,400	48,512	53,065	6,628	25,704	85,397	43%	18,590,656
10月	25,571	2,772	14,785	43,128	21,632	1,058	19,738	42,428	47,203	3,830	34,523	85,556	50%	18,633,784
11月	26,247	3,330	13,071	42,648	37,772	3,480	26,934	68,186	64,019	6,810	40,005	110,834	38%	18,676,432
12月	22,707	4,246	11,695	38,648	50,010	7,583	26,881	84,474	72,717	11,829	38,576	123,122	31%	18,715,080
1月	22,828	3,585	13,584	39,997	52,496	6,540	33,377	92,413	75,324	10,125	46,961	132,410	30%	18,755,077
2月	21,929	5,597	13,320	40,846	38,868	7,080	23,041	68,989	60,797	12,677	36,361	109,835	37%	18,795,923
3月	25,305	7,085	13,698	46,088	37,713	3,325	30,527	71,565	63,018	10,410	44,225	117,653	39%	18,842,011
計	306,706	47,323	157,471	511,500	491,944	44,749	331,103	867,796	798,650	92,072	488,574	1,379,296	37%	
構成比	21%	4%	12%	37%	36%	3%	23%	62%	58%	7%	35%	100%		

(3) 団体地域別入館者数

(単位:人)

区分		件数	人数	人員百分率(%)	区分		件数	人数	人員百分率(%)
地域	地域								
東海	市内	1,465	81,698	52.55%	四国	徳島	1	21	0.01%
	愛知	683	41,370	26.61%		香川	1	20	0.01%
	岐阜	162	7,371	4.74%		愛媛	0	0	0.00%
	三重	165	9,920	6.38%		高知	0	0	0.00%
	静岡	46	1,777	1.14%		小計	2	41	0.03%
	小計	2,521	142,136	91.43%		九州	福岡	2	62
北陸	福井	19	570	0.37%	長崎		0	0	0.00%
	石川	13	439	0.28%	佐賀		0	0	0.00%
	富山	15	534	0.34%	熊本		0	0	0.00%
	小計	47	1,543	0.99%	大分		0	0	0.00%
甲信越	新潟	4	112	0.07%	宮崎		0	0	0.00%
	長野	37	1,245	0.80%	鹿児島	2	67	0.04%	
	山梨	3	88	0.06%	小計	4	129	0.08%	
	小計	44	1,445	0.93%	東北	青森	0	0	0.00%
関東	東京	4	180	0.12%		岩手	1	12	0.01%
	神奈川	2	51	0.03%		宮城	1	20	0.01%
	千葉	1	23	0.01%		秋田	0	0	0.00%
	埼玉	4	122	0.08%		山形	0	0	0.00%
	群馬	0	0	0.00%		福島	0	0	0.00%
	栃木	0	0	0.00%		小計	2	32	0.02%
	茨城	0	0	0.00%		北海道・ 沖縄地区	北海道	2	49
	小計	11	376	0.24%	沖縄		0	0	0.00%
小計				小計	2		49	0.03%	
近畿	滋賀	57	2,854	1.84%	外国	韓国	4	229	0.15%
	京都	68	4,359	2.80%		中国	7	238	0.15%
	大阪	25	1,236	0.80%		台湾	1	45	0.03%
	奈良	3	158	0.10%		フランス	1	4	0.00%
	和歌山	5	93	0.06%					
	兵庫	11	462	0.30%					
	小計	169	9,162	5.89%					
中国	鳥取	0	0	0.00%	不明	0	0	0.00%	
	島根	0	0	0.00%	小計	13	516	0.33%	
	岡山	1	31	0.02%	合計	2,816	155,460	100%	
	広島	0	0	0.00%					
	山口	0	0	0.00%					
小計	1	31	0.02%						

※電子申請を含まない

年度	入館者数	内プラネタリウム 入館者数	営業日数 (日)	一日平均	個 人					団 体						
					大 人		中高生	小学生以下	計	大 人		中高生	小学生以下	計	市 内	市 外
昭和37	111,023	111,023	125	888	26,875	—	11,883	15,339	54,097	5,245	—	24,442	27,239	56,926	—	—
38	212,047	212,047	311	682	45,559	—	19,821	25,975	91,355	9,662	—	47,583	63,447	120,692	—	—
39	325,001	265,607	310	1,048	82,423	—	49,650	57,244	189,317	12,275	—	49,259	74,150	135,684	—	—
40	366,296	279,218	308	1,189	94,530	—	55,870	72,624	223,024	13,454	—	49,119	80,699	143,272	—	—
41	375,720	292,208	314	1,197	90,549	—	48,381	72,073	211,003	21,442	—	47,539	95,736	164,717	65,142	99,575
42	379,220	284,639	312	1,215	84,636	—	45,610	71,671	201,917	36,367	—	42,049	98,887	177,303	71,549	105,754
43	431,740	334,008	311	1,388	98,885	—	46,620	91,834	237,339	32,482	—	45,996	115,923	194,401	78,887	115,514
44	453,398	362,255	313	1,449	110,378	—	52,100	107,619	270,097	23,684	—	36,822	122,795	183,301	76,615	106,686
45	445,817	365,216	310	1,438	108,462	—	46,238	112,918	267,618	15,469	—	29,296	133,434	178,199	81,945	96,254
46	470,288	390,347	312	1,507	105,711	—	47,988	118,015	271,714	17,967	—	37,836	142,771	198,574	81,457	117,117
10年累計	3,570,550	2,896,568	2,926	1,220	848,008		424,161	745,312	2,017,481	188,047		409,941	955,081	1,553,069	455,595	640,900
47	464,848	374,054	311	1,495	103,054	—	46,669	130,325	280,048	12,853	—	29,701	142,246	184,800	72,515	112,285
48	497,966	416,138	310	1,606	116,551	—	48,862	137,816	303,229	11,461	—	28,636	154,640	194,737	79,338	115,399
49	510,016	429,438	308	1,656	114,693	—	44,918	141,206	300,817	13,221	—	32,085	163,893	209,199	81,177	128,022
50	553,795	456,725	309	1,792	139,445	—	46,493	167,510	353,448	12,400	—	28,378	159,569	200,347	83,613	116,734
年度	入館者数	内プラネタリウム	営業日数	一日平均	大 人		廃 止	中学生以下	計	大 人		廃 止	中学生以下	計	市 内	市 外
51	495,551	407,415	282	1,757	135,069	—	—	166,156	301,225	17,118	—	—	177,208	194,326	83,852	110,474
52	501,747	394,632	296	1,695	142,757	—	—	163,125	305,882	15,055	—	—	180,810	195,865	87,483	108,382
53	519,689	386,720	296	1,756	152,733	—	—	174,502	327,235	17,172	—	—	175,282	192,454	77,568	114,886
54	515,791	391,944	296	1,743	151,304	—	—	164,754	316,058	17,744	—	—	181,989	199,733	78,791	120,942
55	593,571	390,348	296	2,005	151,989	—	—	150,296	302,285	57,522	—	—	233,764	291,286	178,904	112,382
56	477,384	381,592	295	1,618	148,900	—	—	136,897	285,797	14,196	—	—	177,391	191,587	77,275	114,312
20年累計	8,700,908	6,925,574	5,925	1,469	2,204,503		611,103	2,277,899	5,093,505	376,789		528,741	2,701,873	3,607,403	1,356,111	1,794,718
57	476,272	378,781	296	1,609	149,775	—	—	134,148	283,923	17,891	—	—	174,458	192,349	83,642	108,707
58	418,701	310,786	297	1,410	135,770	—	—	110,113	245,883	14,442	—	—	158,376	172,818	71,103	101,715
59	452,249	347,805	296	1,528	154,924	—	—	113,062	267,986	18,167	—	—	166,096	184,263	86,574	97,689
60	499,750	369,976	295	1,694	169,253	—	—	114,491	283,744	32,037	—	—	183,969	216,006	120,435	95,571
61	421,309	349,585	296	1,423	162,703	—	—	98,694	261,397	15,590	—	—	144,322	159,912	76,031	83,881
62	571,611	393,271	297	1,925	196,068	—	—	128,928	324,996	75,423	—	—	171,192	246,615	167,887	78,728
63	440,089	344,212	264	1,667	176,202	—	—	119,364	295,566	16,264	—	—	128,259	144,523	76,938	67,585
平成元	636,758	368,132	292	2,181	301,961	—	—	148,123	450,084	46,153	—	—	140,521	186,674	122,284	64,390
2	738,855	406,299	296	2,496	343,438	—	—	173,796	517,234	47,614	—	—	174,007	221,621	135,999	85,622
3	726,889	359,142	296	2,456	377,902	—	—	193,828	571,730	22,825	—	—	132,334	155,159	75,659	79,500
30年累計	14,083,391	10,553,563	8,850	1,591	4,372,499		611,103	3,612,446	8,596,048	683,195		528,741	4,275,407	5,487,343	2,372,663	2,658,106

年度	入館者数	内プラネタリウム 入館者数	営業日数 (日)	一日平均	個 人					団 体					市 内	市 外	
					大 人		中高生	小学生以下	計	大 人		中高生	小学生以下	計			
4	709,590	365,808	295	2,405	345,654	—	—	220,654	566,308	21,890	—	—	121,392	143,282	71,870	71,412	
5	676,276	339,482	290	2,332	334,791	—	—	203,974	538,765	18,980	—	—	118,531	137,511	72,245	65,266	
6	684,841	310,854	273	2,509	286,342	—	—	277,186	563,528	30,327	—	—	90,986	121,313	80,964	40,349	
7	733,520	309,803	297	2,470	342,987	—	—	275,551	618,538	15,254	—	—	99,728	114,982	58,901	56,081	
8	680,538	290,105	295	2,307	288,377	—	—	285,073	573,450	12,090	—	—	94,998	107,088	58,336	48,752	
9	610,342	265,050	296	2,062	244,626	—	—	259,373	503,999	12,218	—	—	94,125	106,343	61,823	44,520	
10	711,416	287,398	295	2,412	298,300	—	—	303,425	601,725	13,749	—	—	95,942	109,691	65,938	43,753	
11	724,128	259,983	297	2,438	321,340	—	—	298,372	619,712	10,796	—	—	93,620	104,416	66,764	37,652	
12	544,530	248,740	296	1,840	209,759	—	—	238,172	447,931	10,041	—	—	86,558	96,599	71,320	25,279	
13	550,524	250,887	296	1,860	205,585	—	—	247,957	453,542	11,549	—	—	85,433	96,982	70,942	26,040	
40年累計	20,709,096	13,481,673	11,780	1,758	7,250,260		611,103	6,222,183	14,083,546	840,089		528,741	5,256,720	6,625,550	3,051,766	3,117,210	
14	675,170	232,297	295	2,289	291,794	—	—	315,391	607,185	9,053	—	—	58,932	67,985	43,293	24,692	
15	624,325	250,311	297	2,102	247,780	—	—	296,374	544,154	10,892	—	—	69,279	80,171	52,497	27,674	
16	615,425	226,473	296	2,079	236,606	—	—	306,241	542,847	8,290	—	—	64,288	72,578	51,462	21,116	
17	486,104	231,470	296	1,642	196,483	—	—	217,833	414,316	8,042	—	—	63,746	71,788	50,371	21,417	
年度	入館者数	内プラネタリウム	営業日数	一日平均	大 人	高大生		中学生以下	計	大 人	高大生		中学生以下	計	市 内	市 外	
18	614,577	261,510	296	2,076	248,508	12,480	—	270,513	531,501	8,776	2,756	—	71,544	83,076	53,611	29,465	
19	618,956	250,848	296	2,091	238,472	10,819	—	290,710	540,001	7,461	2,240	—	69,254	78,955	51,378	27,577	
20	607,864	252,363	296	2,054	239,432	12,520	—	278,421	530,373	7,627	2,213	—	67,651	77,491	50,933	26,558	
21	606,157	261,073	295	2,055	236,005	13,274	—	281,485	530,764	6,736	2,335	—	66,322	75,393	51,386	24,007	
22	481,957	181,837	162	2,975	205,740	12,142	—	210,537	428,419	4,838	1,532	—	47,168	53,538	43,911	9,627	
年度	入館者数	内プラネタリウム	営業日数	一日平均	大 人	高大生		中学生以下	計	大 人	高大生		中学生以下	計	市 内	市 外	電子申請
23	1,531,854	589,595	297	5,158	862,732	102,687	—	339,153	1,304,572	72,648	10,128	—	144,506	227,282	97,772	118,936	10,574
50年累計	27,571,485	16,219,450	14,606	1,888	10,253,812	163,922	611,103	9,028,841	20,057,678	984,452	21,204	528,741	5,979,410	7,513,807	3,598,380	3,448,279	10,574
24	1,303,372	564,471	296	4,403	715,968	56,793	—	297,869	1,070,630	82,152	10,887	—	139,703	232,742	106,155	107,518	19,069
25	1,436,926	541,255	295	4,871	806,440	71,266	—	344,014	1,221,720	68,908	9,609	—	136,689	215,206	94,216	99,472	21,518
26	1,394,003	522,904	296	4,709	786,788	69,898	—	340,702	1,197,388	54,685	9,201	—	132,729	196,615	85,738	90,429	20,448
27	1,382,275	482,431	295	4,686	782,035	70,735	—	353,699	1,206,469	44,623	8,705	—	122,478	175,806	78,779	83,189	13,838
28	1,379,296	511,500	296	4,660	753,314	84,098	—	361,852	1,199,264	45,336	7,974	—	126,722	180,032	66,544	88,916	24,572
総 計	34,467,357	18,842,011	16,084	2,143	14,098,357	516,712	611,103	10,726,977	25,953,149	1,280,156	67,580	528,741	6,637,731	8,514,208	4,029,812	3,917,803	99,445

2 常設展示品（平成29年3月31日現在）

[展示品数224点(理工館130点・天文館36点・生命館43点・大型展示4点・屋外展示8点・その他3点)]

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
不思議のひろば 理工館2階 (33点)	ひかりのふしぎ	さんしょくのかげ	総合その他	平22	市
		かげえあそび	総合その他	平22	市
		ひかりのおえかき	総合その他	平22	市
		もじゃもじゃかがみ	総合その他	平22	市
		つかめない?	総合その他	平22	市
		はんたいかがみ	総合その他	平22	市
		あくしゅかがみ	総合その他	平22	市
		へんしんかがみ	総合その他	平22	市
		おっかけかがみ	総合その他	平22	市
	すきとおるかがみ	総合その他	平22	市	
	うごきとかたちのふしぎ	ボールコースター	総合その他	平22	市
		うきでるかたち	総合その他	平22	市
		ふりこのすなもよう	総合その他	平22	市
		おどるすなもよう	総合その他	平22	市
		うかぶボール	総合その他	平22	市
		すいつくボール	総合その他	平22	市
	おとのふしぎ	おちにくいかたち	総合その他	平22	市
		ふしぎなおとのもり	総合その他	平22	市
		こだまパイプ	総合その他	平22	市
	かんかくのふしぎ	パラボラ	総合その他	平22	市
		いろいろなさっかく	総合その他	平22	市
		すべすべのて	総合その他	平22	市
		さっかくのへや	総合その他	平22	市
		ふしぎなりったい	総合その他	平22	市
	なつかしのてんじ	ふしぎなえんばん	総合その他	平22	市
		きえるからだ	総合その他	平22	市
		あなたもさつきよくか	総合その他	平3	市
NKSじしゃく		総合その他	昭49	寄贈	
あそびのひろば	たこのダンス	総合その他	昭39	市	
	イライラぼう	総合その他	平5	市	
	Go Go! しょうぼうしゃ	総合その他	平13	出品	
技術のひろがり 理工館3階 (20点)	街ではたらく機械	じゅんすいッチ	総合その他	平28	市
		ウッディ・プレイランド	総合その他	平22	市
		モノづくり都市パノラマ	交通・機械	平22	市・寄
		電車	交通・機械	平22	市
		クレーン	交通・機械	平22	市
		大型船	交通・機械	平22	市
	機械の素	飛行機	交通・機械	平22	市
		ロボット	交通・機械	平22	市・寄
		歯車	交通・機械	平1	市
		滑車	交通・機械	平22	市
	部品・製品をつくる	てこ	交通・機械	平22	市
		ねじ	交通・機械	平22	市
		ベルトプーリー	交通・機械	平22	市
	身近な機械	けずる	交通・機械	平22	市
		プレス	交通・機械	平22	市
		溶接	交通・機械	平22	市
		鋳物・射出成形	交通・機械	平22	市・寄
		ミシン	交通・機械	平22	市・寄
	実験のアトリエ	自動販売機	交通・機械	平22	市・寄
		掃除機	交通・機械	平22	市・寄
時計		交通・機械	平22	市・寄	
くらしの中の電子機器		交通・機械	平22	市・寄	
科学原理とのふれあい 理工館4階 (31点)	水の波を見る	縦波と横波	エネルギー・物理	平22	市
		電磁波	エネルギー・物理	平22	市・寄
		声の振動を見る	エネルギー・物理	平22	市
		音の波を見る	エネルギー・物理	平22	市
		音のフレネルレンズ	エネルギー・物理	平22	市
		ボールの色選び	エネルギー・物理	平22	市
		偏光	エネルギー・物理	平22	市

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
科学原理との ふれあい 理工館4階 (31点)	実験のアトリエ	屈折	エネルギー・物理	平22	市
		振動する磁界	エネルギー・物理	平22	市
		磁性流体	エネルギー・物理	平22	市
		電磁石	エネルギー・物理	平22	市
		トムソンリング	エネルギー・物理	平22	市
		磁界のかたち	エネルギー・物理	平22	市
		モーター	エネルギー・物理	平22	市
		落ちにくい円盤	エネルギー・物理	平22	市
		モンキーハンティング	エネルギー・物理	平22	市
		加速度と距離	エネルギー・物理	平22	市
		回る水槽	エネルギー・物理	平22	市
		モーメント	エネルギー・物理	平22	市
		転がる円盤	エネルギー・物理	平22	市
	パラボラの反射	数学・情報	平22	市	
	数学	自然を数字で表す	数学・情報	平22	市
公式と図形		数学・情報	平22	市	
物理現象に見る数学		数学・情報	平22	市	
自然現象に見る数学		数学・情報	平22	市	
直線がつくる曲面		数学・情報	平22	市	
情報科学	情報科学とは	数学・情報	平22	市	
	二進法のしくみ	数学・情報	平22	市	
	文字のコード化	数学・情報	平22	市	
	デジタル画像	数学・情報	平22	市	
物質・エネルギーの せかい 理工館5階 (32点)	材料大集合	身の回りの材料大図解	物質	平22	市・寄
		重さくらべ	物質	平22	市・寄
		自転車の重さくらべ	物質	平22	市
		金属疲労	物質	平22	市
		熱伝導	物質	平22	市
		電気伝導	物質	平22	市
		弾み方	物質	平22	市
		板ばねの力くらべ	物質	平22	市
		形状記憶合金	物質	平22	市・寄
		液晶	物質	平22	市
		超撥水と超親水	物質	平22	市・寄
		香料	物質	平22	市・寄
		熱や光で色変化	物質	平22	市・寄
		セラミックスのセンサ	物質	平22	市
	半導体	物質	平22	市	
	セラミックス	物質	平22	市・寄	
	金属	物質	平22	市・寄	
	有機材料	物質	平22	市	
	原子・分子の世界	微小な世界へ	物質	平22	市
		原子の誕生	物質	平22	市
		元素周期表	物質	平22	市
		炎色反応	物質	平22	寄贈
		蛍光	物質	平22	市
		動き回る分子-ブラウン運動-	物質	平22	市
		さまざまな分子と化学結合	物質	平22	市
		水分子	物質	平22	市
	炭素	物質	平22	市	
エネルギー	エネルギーとは	エネルギー・物理	平22	市	
	世界のエネルギー事情	エネルギー・物理	平22	市	
	わたしたちの主なエネルギー	エネルギー・物理	平22	出品	
	エネルギーで成り立っている	エネルギー・物理	平22	市	
	わたしたちの暮らし	エネルギー・物理	平22	市	
エネルギーQ&A	エネルギー・物理	平22	市		
最新科学とのであい 理工館6階 (14点)	地球を知る	新たな世界への挑戦	環境	平22	市
		気候変動を探る	環境	平22	市
		二酸化炭素地中貯留実験	環境	平22	市
	宇宙へ挑む	太陽を観測する～太陽望遠鏡～	天文・宇宙	平22	市
		宇宙へ到達する～H-II Bロケット～	天文・宇宙	平22	市・出

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
最新科学とのであい 理工館6階 (14点)	宇宙へ挑む	宇宙から地球を解き明かす-地球観測衛星のまなざし-	天文・宇宙	平22	市
		宇宙環境を利用する～「きぼう」日本実験棟～	天文・宇宙	平22	市
	地下へ挑む	地圏	環境	平22	市・出
		地下へ到達する-地球深部探査船「ちきゅう」-	環境	平22	市
		地下から地球を解き明かす-ボーリングコア-	環境	平22	市・出
		地下から地球を解き明かす-地震観測網-	環境	平22	市
	話題の科学	地下環境を利用する-ジオプロジェクト-	環境	平22	市
話題の科学1		総合その他	平22	市	
		話題の科学2	総合その他	平22	市
宇宙のすがた 天文館5階 (36点)	天文学のあゆみ	古代人の宇宙	天文・宇宙	平22	市
		天動説から地動説へ	天文・宇宙	平22	市
		江戸時代の天文学	天文・宇宙	平22	市
		光学望遠鏡のしくみ	天文・宇宙	平22	市
		望遠鏡をのぞいてみよう	天文・宇宙	平22	市
		65cm望遠鏡	天文・宇宙	平22	市
		望遠鏡の大きさくらべ	天文・宇宙	平22	市
		さまざまな波長	天文・宇宙	平22	市
		分光観測とスペクトル	天文・宇宙	平22	市
		電波天文学	天文・宇宙	平22	市
		赤外線天文学	天文・宇宙	平22	出品
		X線天文学	天文・宇宙	平22	出品
		市街光と星空	天文・宇宙	平17	市
		星のまたたき	天文・宇宙	平22	市
	宇宙線をみる	天文・宇宙	昭52	市	
	宇宙のひろがり	パワーゾオブテン	天文・宇宙	平22	市
		太陽系	天文・宇宙	平22	市
		月の満ち欠け	天文・宇宙	平22	市
		月への挑戦	天文・宇宙	平22	市
		惑星の動きと万有引力	天文・宇宙	昭45	市
		惑星探査	天文・宇宙	平22	市
		宇宙を探る	天文・宇宙	平22	市
		宇宙を測る	天文・宇宙	平22	市
		ニュートリノ	天文・宇宙	平22	市
		星座を形づくる星々	天文・宇宙	平22	市
		星の世界	天文・宇宙	平22	市
	プラネタリウムの歴史	銀河の世界	天文・宇宙	平22	市
		銀河系と天の川	天文・宇宙	平22	市
		宇宙の果て	天文・宇宙	平22	市
		プラネタリウムの歴史	天文・宇宙	平22	市
		アイジンガー・プラネタリウム	天文・宇宙	平22	市
		ピンホール式プラネタリウム	天文・宇宙	平22	寄贈
	地球環境変化の歴史	ツアイスIV型プラネタリウム	天文・宇宙	平22	市
ファイバー式プラネタリウム		天文・宇宙	平22	市	
デジタルタイムカプセル		天文・宇宙	平22	市	
星座早見盤		天文・宇宙	平22	市	
地球環境変化の歴史		環境	平10	市	
過去の地球を探る		過去の地球を探る	環境	平8	寄贈
		地層探検ゲーム	環境	平13	寄贈
		マブサウルス	環境	平21	市
地球のデザイン		生命地球	環境	昭63	市
		水の流れがつくる模様	環境	平10	市
	対流がつくる模様	環境	平10	市	
	飛び出す雲のリング	環境	平10	市	
	夕焼けをつくろう	環境	平10	市	
	虹をつくろう	環境	平10	市	
地球のデザイン	地震実験装置	環境	平10	市	
	地球環境ゲーム	環境	平15	市	
発見処	地球環境マップ	環境	平10	市	
	発見処	総合その他	平13	市	
	地球工房	総合その他	平16	市	

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
生活のわざ 生命館3階 (11点)	食のめぐみ	あなたの食事診断	生活	平12	市
		サイクルでサイクル	生活	平13	市
	家と都市	家のつくり	生活	平13	市
		リサイクルガーデン	生活	平13	市
		都市の地下	生活	平13	市
		都市の防災	生活	平13	市
	暮らしと地球	世界のくらし	生活	昭63	市
		くらしとお天気	生活	平11	市
		環境とくらし	生活	平13	市
		都市気候観測ステーション	生活	平13	市
		くらしと時間	生活	平13	市
	人体のふしぎ 生命館4階 (7点)	ゲノムの迷路	ゲノムの迷路	生命	平17
うごかず・ささえ る		筋肉のふしぎ/骨のふしぎ	生命	平28	市
つたえる・かんが える・ちょうせつ する		神経系・内分泌系のふしぎ	生命	平28	市
はこぶ・めぐる		呼吸・循環のふしぎ	生命	平28	市
とりこむ・すてる		消化・吸収・排出のふしぎ	生命	平28	市
		食べ物はどこへゆく? 消化器ギャラリー	生命 生命	平28 平28	市 市
生命のひみつ 生命館5階 (10点)	生きものラボ	ワンダーゲノム	生命	平23	市
		生命ラボ	生命	平23	市
		生きものギャラリー	生命	平23	市
		遺伝子ミニラボ	生命	平23	市
		細胞共和国	生命	平24	市
	細胞	細胞ラボ	生命	平24	市
		DNA	DNAとはなんだろう チャレンジDNA	生命 生命	平25 平25
	暮らしと バイオテクノロジー	バイオのめぐみ	生命	平26	市
		バイオの森	生命	平26	市

大型展示（4点）

水のひろば 理工館2・3階	くものステージ	さかのぼるあめ	総合その他	平22	市・寄
		みずのプリズム			
		くものつぶとあめのつぶ			
	あめのステージ	ころがるすいてき			
		あまつぶのかたち			
	かわのステージ	ながれとうず			
		みずのシーソー			
		いろいろなすいしゃ うずをつくる			
	うみのステージ	アルキメデスのポンプ			
		おうふうポンプ			
かいてんポンプ					
かいてんぐるま					
ながれあそび					
みずでっぼう					
ジャンボしゃぼんまく りったいしゃぼんまく ぶくぶくタンク ポコポコタンク					
竜巻ラボ理工館3・4階	竜巻ラボ	環境	平22	市	
放電ラボ理工館4・5階	放電ラボ	エネルギー・物理	平22	市	
極寒ラボ理工館5階	極寒ラボ	環境	平22	市・寄	

その他

エントランスホール 理工館1階	エントランス展示	LE-7エンジン	天文・宇宙	平6	出品
		建物の環境配慮設備	環境	平22	市
休憩室生命館1階	フーコーの振り子	フーコーの振り子	天文・宇宙	平22	市

屋外

屋外展示 (8点)	屋外展示	B6型蒸気機関車(状態調査中)	交通・機械	昭43	寄贈
		市電1400型ボギー車	交通・機械	昭49	寄贈
		H-IIBロケット	天文・宇宙	平23	寄贈
		日本実験棟「きぼう」	天文・宇宙	平23	寄贈
		ニュートンのりんごの木	エネルギー・物理	平22	寄贈
		フランス水車	エネルギー・物理	昭43	出品
		無人探査機 ドルフィン3K	環境	平16	出品
		風力発電装置	エネルギー・物理	平16	寄贈

分類別集計	天文・宇宙	44
	物質	27
	数学・情報	10
	エネルギー・物理	30
	交通・機械	22
	生命	17
	環境	25
	生活	11
	総合その他	38
	合計	224

備考欄集計	市	184	82%
	市・寄	19	8%
	市・出	3	1%
	寄贈	11	5%
	出品	7	3%
	合計	224	100%

建物集計	理2	33	
	理3	20	
	理4	31	
	理5	32	
	理6	14	130
	天5	36	36
	生2	15	
	生3	11	
	生4	7	
	生5	10	43
	大型	4	4
	その他	3	3
	屋外	8	8
	合計		224

3 年度別決算

※職員給与は市役所費用にて一括計上のため除く

年度	経常費歳出			歳入決算 (観覧料)	総入場者 数	摘要	科学館費以外の歳出
	人件費	運営費	計				
	千円	千円	千円	千円	人	千円	千円
昭和36	—	989	989	—		※	建設費 194,900
37	1,440	13,758	15,198	6,790	111,023	※ 37.11.1 第一期工事(天文館)完成	建設費 245,991
38	720	22,470	23,190	12,537	212,047	※ 38.6.29 第二期工事(理工館)着工	建設費 200,000
39	27,569	38,513	66,082	22,523	325,001	39.10.30 第二期工事(理工館)完成	建設費 407,149
40	33,648	53,904	87,552	27,296	366,296		
41	36,936	58,427	95,363	27,259	375,720		
42	39,914	65,038	104,952	26,564	379,220		
43	45,075	66,429	111,504	30,839	431,740	スカイラインプロジェクタ設置	
44	51,485	73,946	125,431	33,525	453,398	プラネタリウム椅子取替え	
45	58,161	77,139	135,300	32,700	445,817	プラネタリウムドーム内天井塗装	
46	69,792	89,231	159,023	34,455	470,288		
47	74,893	101,326	176,219	33,049	464,848		
48	86,034	98,959	184,993	36,261	497,966		
49	106,543	111,006	217,549	36,988	510,016		
50	148,972	164,077	313,049	40,768	553,795	S C R 調光器取替	
51	161,180	387,779	548,959	52,046	495,551		空調熱源取替 214,000
52	160,845	196,793	357,638	51,705	501,747		
53	182,537	212,063	394,600	53,053	519,689		
54	190,001	216,492	406,493	53,066	515,791		
55	198,134	223,249	421,383	55,110	593,571		
56	203,376	254,889	458,265	51,071	477,384		エレベータ取替 49,000
57	217,504	274,420	491,924	50,913	476,272		エレベータ取替 49,500
58	223,636	289,283	512,919	43,480	418,701		プラネタリウム室改修 103,000
59	229,019	288,658	517,677	69,432	452,249		天文館改修 220,000 生命館基本設計 7,000 望遠鏡設置 75,000
60	242,433	280,497	522,930	76,532	499,750		生命館実施設計 70,000
61	264,216	288,563	552,779	71,012	421,309		生命館建設(初年度分) 895,950
62	277,742	292,205	569,947	78,464	571,611		生命館建設(第2年度分) 552,200 科学館の改修(初年度分) 249,600
63	291,979	315,957	607,936	65,317	440,089		生命館建設(最終年度分) 2,415,770 科学館の改修(最終年度分) 998,400 プラネタリウムの施設整備 87,796 発券改札業務の機械化 93,090

(次ページへ続く)

年度	経常費歳出			歳入決算 (観覧料)	総入場者数	摘要	科学館費以外の歳出
	人件費	運営費	計				
平成 元	千円	千円	千円	千円	人	千円	千円
	311,870	611,743	923,613	113,723	636,758	生命館開館式典費 4,720	
2	324,977	593,417	918,394	130,943	738,855		
3	354,803	728,085	1,082,888	117,673	726,889	プラネタリウムオーバーホール 22,000 ハイビジョン 映像情報コーナー設置 97,000	
4	365,527	572,743	938,270	116,924	709,590	開館30周年記念式典	
5	373,281	609,427	982,708	107,887	676,276		
6	381,162	623,955	1,005,117	88,693	684,841		理工館冷温水発生機等整備 107,000 電源設備等復旧 328,600
7	386,952	703,174	1,090,126	106,252	733,520	プラネタリウム 新演出システム導入 64,200 福祉環境整備 42,800	天文館用熱源機器取替等整備 107,000
8	381,840	525,817	907,657	84,657	680,538	自動改札システム更新 14,097	天文館空調機取替等整備 42,800 天文館・理工館耐震診断 4,422
9	382,080	562,686	944,766	77,840	610,342	プラネタリウム 調光装置改修 17,640	理工館空調機器取替等整備 109,000
10	388,960	633,179	1,022,139	84,990	711,416	館内情報システム 電気配線工事 8,400	
11	395,080	587,541	982,621	77,413	724,128	ガス管及び水道管布設替 9,000 プラネタリウムオーバーホール 20,000	
12	388,557	548,277	936,834	63,741	544,530	スカイラインプロジェクター システム更新 5,600	
13	349,200	638,055	987,255	65,908	550,524	プラネタリウムスクリーン塗装 15,225	
14	334,800	545,151	879,951	72,087	675,170	プラネタリウム 補聴システム導入 1,597 理工館展示品更新 4,000	
15	323,000	535,052	858,052	69,271	624,325	プラネタリウム音響装置改修 4,000 出前ミュージアム 3,137	
16	297,000	487,413	784,413	62,344	615,425	プラネタリウム電源部改修 10,626 理工館・天文館改築基本構想 4,935	
17	300,832	456,635	757,467	67,213	486,104	愛・地球博記念 ロボットサッカー国際交流 10,000 科学演芸(笹島サテライト) 3,000 理工館・天文館改築基本構想 1,785	
18	321,742	476,335	798,077	68,295	614,577	プラネタリウム映像機器改修 4,798 理工館・天文館改築基本計画 40,971	
19	341,532	391,496	733,028	64,210	618,956		理工館・天文館改築 315,589

(次ページへ続く)

年度	経常費歳出			歳入決算 (観覧料)	総入場者数	摘要	科学館費以外の歳出
	人件費	運営費	計				
平成 20	千円 335,160	千円 387,104	千円 772,264	千円 66,687	人 607,864	千円	千円 理工館・天文館改築 288,640
21	326,700	380,855	707,555	73,403	606,157		理工館・天文館改築 2,421,157
22	319,464	354,918	674,382	57,573	481,957		理工館・天文館改築 12,197,788
23	274,691	601,132	875,823	333,907	1,531,854		屋外展示・外構改築 794,389
24	281,632	618,490	900,122	306,626	1,303,372		
25	289,949	617,573	907,522	277,651	1,436,926		
26	291,291	659,401	950,692	268,148	1,394,003		生命館空調動力盤交換 2,376
27	296,472	623,827	920,299	238,856	1,382,275		プラネカム機器の更新 151,999 天井等落下防止対策調査 8,030
28	294,690	838,348	1,133,038	240,750	1,379,296		エレベーター改修 918 生涯学習施設の大規模修繕 3,975

(注) 昭和56年度以降の人件費については、生涯学習推進費(平成9年度までは社会教育総務費)にて一括計上のため按分により算出。

4 展示協力

協力者	展示品名	区分	展示場所
特殊法人宇宙開発事業団	H-II ロケットメインエンジン (LE-7)	展示品出品	理工館 1 階
立命館大学文学部心理学専攻教授 北岡明佳	さっかく	作品提供	理工館 2 階
明治大学研究・知財戦略機構特任教授 杉原厚吉	さっかく	作品提供	理工館 2 階
住友特殊金属株式会社	NKS じしゃく	展示品寄贈	理工館 2 階
名古屋市消防局	GoGo! しょうぼうしゃ	展示品出品	理工館 2 階
竹田印刷株式会社	ころがるすいてき (超はっ水シート)	物品寄贈	理工館 2 階
名古屋大学大学院工学研究科・マテリアル理工学専攻教授 高井治	ころがるすいてき	製作協力	理工館 2 階
名古屋鉄道株式会社	モノづくり都市パノラマ (模型車両)	物品寄贈	理工館 3 階
日本車輛製造株式会社	電車	画像協力	理工館 3 階
名古屋市交通局	電車	画像協力	理工館 3 階
高木 常雄	蒸気機関車 C53 模型	物品寄贈	理工館 3 階
	蒸気機関車 C64 模型	物品寄贈	理工館 3 階
株式会社竹中工務店	クレーン	製作協力	理工館 3 階
株式会社新来島豊橋造船	大型船	画像協力	理工館 3 階
ナカシマプロペラ株式会社	大型船	画像協力	理工館 3 階
三菱航空機株式会社	飛行機	画像協力	理工館 3 階
中日本航空専門学校	飛行機	製作協力	理工館 3 階
株式会社デンソー	ロボット (産業ロボット体験装置)	装置部寄贈	理工館 3 階
	ものづくり都市パノラマ	画像協力	理工館 3 階
名古屋市立工業高等学校	けずる、溶接、鋳物・射出成形	製作協力	理工館 3 階
一般社団法人日本アルミニウム協会	プレス (アルミニウム標本)	物品寄贈	理工館 3 階
長島鋳物株式会社	鋳物・射出成形 (名古屋市型マンホールふた)	物品寄贈	理工館 3 階
ブラザー工業株式会社	ミシン (ミシンのしくみ体験装置)	装置部寄贈	理工館 3 階
	ミシン (スケルトンミシン)	装置部寄贈	理工館 3 階
	くらしの中の電子機器 (複合機・モバイルプリンター)	物品寄贈	理工館 3 階
富士電機リテイルシステムズ株式会社	自動販売機 (自動販売機)	装置部寄贈	理工館 3 階
日立アプライアンス株式会社	掃除機 (掃除機)	装置部寄贈	理工館 3 階
	掃除機 (掃除機カットモデル)	物品寄贈	理工館 3 階
リコーエレメックス株式会社	時計 (時計分解図パネル・時計部品)	物品寄贈	理工館 3 階
なるせ時計	時計	画像協力	理工館 3 階
株式会社日立製作所 中部支社	くらしの中の電子機器 (薄型テレビ)	物品寄贈	理工館 3 階
パナソニック 電工株式会社	くらしの中の電子機器 (蛍光灯電球)	物品寄贈	理工館 3 階
象印マホービン株式会社	くらしの中の電子機器 (圧力IH炊飯ジャー)	装置部寄贈	理工館 3 階
平川明良	竜巻ラボ	音楽協力	理工館 3 階
株式会社デンソー	電磁波 (ミリ波レーダー)	物品寄贈	理工館 4 階
東京都立高等学校教諭 田原輝夫	音のフレネルレンズ	製作協力	理工館 4 階
独立行政法人産業技術総合研究所計量標準センター	自然を数字で表す	画像協力	理工館 4 階
独立行政法人情報通信研究所	自然を数字で表す	画像協力	理工館 4 階
パナソニック 電工株式会社	身の回りの材料大図解 (ノートパソコン筐体始め7点)	物品寄贈	理工館 5 階
大同特殊鋼株式会社	重さくらべ (金属)	装置部寄贈	理工館 5 階
	形状記憶合金 (形状記憶合金)	装置部寄贈	理工館 5 階
	金属 (金属標本)	物品寄贈	理工館 5 階
株式会社 I N A X	超はっ水と超親水 (超親水タイル)	物品寄贈	理工館 5 階
竹田印刷株式会社	超はっ水と超親水 (超はっ水シート)	物品寄贈	理工館 5 階
名古屋大学大学院工学研究科・マテリアル理工学専攻教授 高井治	超はっ水と超親水	製作協力	理工館 5 階
高砂香料工業株式会社	香料 (香料)	装置素材寄贈	理工館 5 階
	炭素	装置素材寄贈	理工館 5 階
パイロットインキ株式会社	熱や光で色変化 (サーモクロミズムシート)	装置部寄贈	理工館 5 階
信越化学工業株式会社	半導体	物品寄贈	理工館 5 階

協 力 者	展 示 品 名	区 分	展示場所
日本特殊陶業株式会社	セラミックス（ファインセラミックス標本）	物品寄贈	理工館5階
新日本製鐵株式会社 名古屋製鉄所	金属（金属標本）	物品寄贈	理工館5階
愛知県鍍金工業組合	金属（めっき標本）	物品寄贈	理工館5階
一般社団法人日本アルミニウム協会	金属（アルミニウム標本）	物品寄贈	理工館5階
東邦ガス株式会社	炎色反応	展示品寄贈	理工館5階
中部電力株式会社	わたしたちの主なエネルギー源	装置部出品	理工館5階
石油連盟	エネルギーで成り立っているわたしたちの暮らし	資料寄贈	理工館5階
ミサワホーム株式会社	極寒ラボ（南極の建築部材）	物品寄贈	理工館5階
国立極地研究所	極寒ラボ（防寒具）	物品寄贈	理工館5階
	極寒ラボ（氷）	素材協力	理工館5階
知床斜里町観光協会	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
立山カルデラ博物館	極寒ラボ（氷）	素材協力	理工館5階
旭川市科学館	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
北海道オホーツク流氷科学センター	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
関西電力株式会社	極寒ラボ（氷）	素材協力	理工館5階
名古屋大学雪氷圏研究グループ	極寒ラボ	画像協力	理工館5階
株式会社テレビ朝日	極寒ラボ	画像協力	理工館5階
西堀栄三郎記念探検の殿堂	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
名古屋海洋博物館	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	宇宙へ到達する（H-II Bロケット試験機の衛星フェアリングの一部）	物品寄贈	理工館6階
	宇宙へ到達する（M-V ノーズフェアリングカットモデル）	物品出品	理工館6階
	宇宙環境を利用する（SFUサーマル・ブランケット）	物品出品	理工館6階
	宇宙へ到達する	画像協力	理工館6階
	宇宙から地球を解き明かす	画像協力	理工館6階
三菱重工業株式会社	宇宙環境を利用する	画像協力	理工館6階
川崎重工業株式会社	宇宙へ到達する	画像協力	理工館6階
京都大学大学院工学研究科准教授 山田泰広	宇宙環境を利用する	画像協力	理工館6階
独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構	二酸化炭素地中貯留実験	製作協力	理工館6階
東北大学理学部地球科学系教授 掛川武	地圏-ジオスフェア	画像協力	理工館6階
	地下環境を利用する	資料寄贈	理工館6階
国立科学博物館	地圏-ジオスフェア	資料寄贈	理工館6階
独立行政法人海洋研究開発機構	地圏-マントルと核	画像協力	理工館6階
	地下へ到達する	画像協力	理工館6階
独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料出品	理工館6階
	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館6階
独立行政法人日本原子力研究開発機構	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館6階
	地下環境を利用する	画像協力	理工館6階
神奈川県温泉地学研究所	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館6階
DOWAホールディングス株式会社	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館6階
住友金属鉱山株式会社	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館6階
名古屋市見晴台考古資料館	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館6階
国際日本文化研究センター安田研究室	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館6階
山田亮一	地下から地球を解き明かす	製作協力	理工館6階
徳島大学 押村美幸	気候変動を探る	画像協力	理工館6階
国立極地研究所	気候変動を探る	画像協力	理工館6階

協 力 者	展 示 品 名	区 分	展示場所
独立行政法人防災科学技術研究所	地下から地球を解き明かす（地震観測網）	データ協力	理工館 6 階
九州電力株式会社	地下環境を利用する	画像協力	理工館 6 階
名古屋大学博物館教授 吉田英一	地下環境を利用する	データ協力	理工館 6 階
一般財団法人日本宝くじ協会	80cm反射望遠鏡	寄贈	理工館 7 階
山田達夫	江戸時代の天文学	資料寄贈	天文館 5 階
国立天文台 岡山観測所	分光観測とスペクトル（分光器）	資料出品	天文館 5 階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	赤外線天文学（「あかり（ASTRO-F）」冷却系プロトモデル）	物品出品	天文館 5 階
名古屋大学大学院理学研究科宇宙物理学研究室	X線天文学（X線望遠鏡（あすか衛星搭載用スペア）・X線望遠鏡1/4鏡（BBXRT試験モデル））	物品出品	天文館 5 階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	H-II ロケット（模型）	展示品出品	天文館 5 階
国立天文台 かぐやプロジェクト	月の満ち欠け	データ協力	天文館 5 階
国立天文台 4D2Uプロジェクト	銀河の世界	データ協力	天文館 5 階
アイジンジャー・プラネタリウム	アイジンジャー・プラネタリウム	画像協力	天文館 5 階
金子芳江	ピンホール式プラネタリウム（金子式プラネタリウム始め8点）	物品寄贈	天文館 5 階
名古屋大学情報文化学部	デジタルタイムカプセル	製作協力	天文館 5 階
東京工業大学 丸山茂徳	地球環境変化の歴史	資料寄贈	生命館 2 階
財団法人東海財団	過去の地球を探る	展示品寄贈	生命館 2 階
つけち創工社	過去の地球を探る	製作協力	生命館 2 階
名古屋大学年代測定資料センター	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館 2 階
国立極地研究所	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館 2 階
信州大学理学部 原山智	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館 2 階
日本ガイシ株式会社	過冷却水製造装置	物品寄贈	実演用
	水流を曲げる実験装置	物品寄贈	実演用
	雲をつくる装置	物品寄贈	実演用
株式会社アドホック	地層探検ゲーム	展示品寄贈	生命館 2 階
公益財団法人中部科学技術センター	あなたの食事診断	展示品出品	生命館 3 階
一般財団法人日本宝くじ協会	家のつくり	展示品寄贈	生命館 3 階
	リサイクルガーデン	展示品寄贈	生命館 3 階
	環境とくらし	展示品寄贈	生命館 3 階
	都市の地下	展示品寄贈	生命館 3 階
石原産業株式会社	B 6 型蒸気機関車	展示品寄贈	屋 外
名古屋市立大学 消化器・代謝内科学教室	消化器ギャラリー	画像協力	生命館 4 階
名古屋大学 森健策研究室	消化器ギャラリー	画像協力	生命館 4 階
文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究「計算解剖学」、「多元計算解剖学」	消化器ギャラリー	画像協力	生命館 4 階
名古屋市交通局	市電1400型ボギー車	展示品寄贈	屋 外
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	H-IIロケット第1段エンジン部	物品寄贈	屋 外
	H-IIロケット第1段LH2タンク	物品寄贈	屋 外
	H-IIロケット第1段中央部	物品寄贈	屋 外
	H-IIロケット段間部アダプタ	物品寄贈	屋 外
	H-IIロケット強度試験用供試体	物品寄贈	屋 外
三菱重工業/独立行政法人宇宙航空研究開発機構	日本実験棟「きぼう」	物品寄贈	屋 外
東京大学大学院理学系研究科附属植物園（小石川植物園）	ニュートンのりんごの木	展示品寄贈	屋 外
独立行政法人海洋研究開発機構	無人探査機ドルフィン3K	展示品出品	屋 外
名古屋城北ライオンズクラブ	風力発電装置	展示品寄贈	屋 外
公益財団法人中部科学技術センター	フランス水車	展示品出品	屋 外

5 特別展及び企画展

展覧会名	開催期間	入場者数(人)
時計の今昔展 ～昔の時計、今の時計～	昭38. 6. 1～6. 16	8,000
電車の科学展 ～電車の知識～	10. 10～11. 10	8,000
たのしい科学玩具展 ～いろいろな科学玩具の展示～	39. 2. 1～ 2. 26	10,000
新しい時計展 ～近代の時計展示～	39. 6. 2～6. 14	————
のびゆく時計展 ～内外の新しい時計～	40. 6. 1～6. 13	12,000
交通の科学展 ～戦後20年のあゆみと近代化～	10. 27～11. 7	20,000
豊田佐吉生誕100年記念展 ～豊田佐吉に関する資料～	41. 4. 10～4. 24	50,000
鉄の本多光太郎展 ～本多光太郎に関する各種資料の展示～	42. 4. 18～5. 7	17,021
カメラの今昔展 ～懐かしいカメラ、新しいカメラの展示～	6. 4～6. 18	12,826
交通の科学展 ～交通の近代化へのあゆみ～	10. 29～11. 12	25,098
電力王福沢桃介生誕100年展 ～福沢桃介に関する資料～	43. 6. 22～7. 7	14,980
蒸気機関車展 ～蒸気機関車に関する各種資料を展示～	10. 2～11. 10	45,943
宇宙科学と望遠鏡展	44. 11. 1～11. 16	30,780
あかりの科学展	45. 11. 1～11. 15	20,517
日本の地震展	46. 7. 22～8. 1	————
月の石と宇宙科学展	47. 1. 9～1. 23	49,876
花火の科学展	47. 9. 15～10. 1	————
世界の鉄道展 ～未来の交通～	10. 29～11. 12	36,000
のびゆく国際通信展	48. 4. 24～5. 6	————
コペルニクス展 ～生誕500年～	49. 1. 4～1. 20	————
写真の科学展 ～写真のあゆみ～	49. 10. 27～11. 10	18,994
からくりの科学展 ～からくり人形、文献及び実演～	50. 5. 17～6. 1	11,112
ステレオの科学展 ～蓄音機のあゆみ～	11. 1～11. 16	20,247
写真で見る懐かしの名古屋展	51. 11. 3～11. 14	2,546
地図の科学展	52. 3. 19～4. 3	7,000
日本の科学技術の源流を探る	52. 10. 29～11. 13	7,263
記録で見る巨大地震	53. 1. 7～1. 22	5,222
日本化学会創立100周年記念展 ～日本の化学100年のあゆみ～	53. 10. 17～10. 29	5,000
消防展 ～江戸から近代消防まで～	54. 2. 17～3. 4	12,341
夢ののりもの科学展	54. 7. 21～8. 5	33,218
電気100年展 ～エジソン電球からLSIまで～	10. 27～11. 1	15,588
科学者レオナルド・ダビンチ展	55. 7. 26～8. 10	21,000
北京原人展 ～日本人のルーツをさぐる～	10. 18～11. 30	100,088
時計展 ～江戸から昭和初期まで～	57. 3. 6～3. 21	13,835
エネルギーの科学展	57. 7. 24～8. 15	45,102
新コミュニケーション展	58. 10. 14～11. 6	19,520
はかる ～長さ・重さ・時間～	59. 3. 17～3. 29	9,409
サイエンス・アート	59. 7. 25～8. 5	15,013
科学のひろば ～みよう、ためそう、ふれよう～	60. 8. 1～8. 11	15,767
恐竜イグアノドン展	10. 8～11. 24	57,594
鉄道の科学	61. 7. 26～8. 10	25,000
NHK地球大紀行展	62. 4. 25～5. 24	100,758
ザ・カメラ展	8. 6～8. 16	15,767
オルゴールの科学	63. 7. 28～8. 7	15,799

展 覧 会 名	開 催 期 間	入場者数(人)
人類誕生 400 万年展	平元. 4. 29～ 6. 18	106, 795
第 1 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'89	7. 7～ 7. 23	5, 777
特別展 世界最新のホログラフィ	7. 29～ 9. 10	30, 260
特別展 スミソニアン ～アメリカの大発明展～	11. 3～12. 3	7, 230
特別展 発明王エジソン展	2. 4. 21～ 6. 17	78, 775
特別展 恐竜時代 ～日本と中国～	7. 21～ 8. 31	104, 335
企画展 ミクロの世界 ～細胞生物学へのとびら～	10. 20～11. 11	46, 929
企画展 世界を変えた科学書 ～科学・工学のルネサンス～	3. 4. 27～ 5. 12	33, 805
特別展 ロボットワールド ～夢と遊びを科学する～	7. 20～ 9. 1	106, 013
第 2 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'91	10. 10～11. 10	54, 691
特別展 生命の大進化展	4. 3. 20～ 5. 10	69, 039
特別展 ザ・化学展'92	4. 7. 18～ 8. 30	72, 459
企画展 ふれあい地球ひろば	11. 1～11. 12	32, 409
第 3 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'93	5. 4. 23～ 6. 6	50, 534
特別展 のりもの大集合展	7. 17～ 8. 31	88, 482
企画展 ガラスの科学展(電気室事故により途中打ち切り)	6. 3. 19～ 3. 24	8, 770
企画展 '93 名古屋タンポポ調査隊報告展	6. 7. 1～ 7. 17	28, 441
特別展 ふしぎ体感!! マジカル・サイエンス	7. 21～ 8. 31	101, 323
特別展 世界のモーターサイクル歴史展	9. 10～10. 16	30, 301
特別展 知られざるサメの世界展	11. 23～ 7. 1. 8	36, 251
企画展 エネルギー体験館 ～みよう・ふれよう電気の世界～	7. 1. 14～ 1. 29	29, 289
企画展 遺伝子のひ・み・つ	3. 18～ 4. 2	31, 118
第 4 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'95	7. 4. 28～ 6. 25	41, 855
特別展 パリ発! 科学と遊ぶ夢空間「ラ・ビレット展」	7. 22～ 8. 31	48, 637
特別企画 クリスタルワールド ① 特別展 スミソニアン博物館「大宝石・鉱物展」 ② 企画展 「結晶の科学展」	9. 9～10. 29	74, 789
特別展 シルクロード大恐竜展	8. 3. 23～ 5. 26	94, 384
特別展 ニュートンのおもしろサイエンス	8. 7. 20～ 9. 1	52, 472
特別展 大生命展	10. 10～11. 17	21, 499
特別行事 '96 青少年のための科学の祭典	11. 23～11. 24	11, 533
企画展 人間のあしのふしぎ	9. 3. 16～ 3. 30	25, 142
第 5 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'97	9. 6. 6～ 7. 6	29, 690
特別展 クジラ・イルカ大研究	7. 19～ 8. 31	51, 138
企画展 空気と遊ぼう	9. 13～ 9. 28	27, 914
超空間展'97	10. 7～10. 26	31, 326
企画展 鉄道模型 50 年のあゆみ	11. 22～11. 24	10, 480
緊急企画 ポカポカ地球は大変! 君ならどうする? ～地球温暖化を科学しよう～	10. 2. 10～ 3. 1	22, 114
特別展 うごく・かなでる楽器たち ～オーケストラからオルゴールまで～	3. 21～ 5. 10	33, 107
ミニ企画展 科学と遊ぶ木のおもちゃ展	10. 4. 1～ 6. 30	147, 197
特別展 メディアトンネル探検隊～象形文字からインターネット～	7. 18～ 8. 30	47, 600
特別展 大恐竜展 ～失われた大陸ゴンドワナの支配者～	10. 31～11. 1. 17	99, 484
企画展 '98 名古屋タンポポ調査隊報告展	12. 19～11. 1. 17	78, 466
特別展 鳥のルーツを探る ～恐竜は絶滅しなかった! ?～	11. 3. 20～ 5. 16	45, 218
特別展 発見!! 石の王国 ～今明かされる地球の秘密～	11. 7. 17～ 8. 31	62, 574
企画展 かがく遊び ～家でできる化学の実験～	9. 15～ 9. 26	17, 503
特別展 中部地質情報展 ～20 億年のタイムトラベル～	9. 15～10. 11	45, 529
特別展 カオを学ぶ カオで遊ぶ ～大「顔」展～	10. 30～12. 1. 30	96, 867
特別展 宇宙展 2000 ～さあ始めよう時空の旅～	12. 3. 18～ 5. 14	64, 504

展 覧 会 名	開 催 期 間	入場者数(人)
特別展 匠(たくみ)のサイエンス	平 12. 7. 15～ 8. 31	39, 140
緊急企画展 これが東海豪雨だ	10. 13～12. 28	88, 994
企画展 君も気象予報士	13. 3. 17～ 3. 31	18, 669
ゴールデンウィーク企画展 「鉄道模型であそぼう」	13. 4. 29～ 5. 6	36, 505
特別展 からだ・ふしぎ発見	7. 20～ 9. 2	59, 387
企画展 素材とわたちの科学=建築とE. トロハ展 ～過去・現在・未来～	10. 11～10. 30	3, 517
企画展 野依良治 ノーベル化学賞への道	14. 1. 25～ 3. 3	38, 263
企画展 光とあそぼう	3. 16～ 3. 31	23, 509
特別展 目でみる『がん』展	14. 4. 13～ 6. 30	32, 395
開館 40 周年記念特別展 ロボットワールド	7. 20～ 9. 1	118, 878
企画展 鉄道模型であそぼう	11. 3～11. 4	6, 297
特別展 水俣・名古屋展	11. 16～15. 1. 13	8, 064
企画展 小柴・田中 ノーベル賞展	15. 1. 25～ 3. 2	53, 109
企画展 地球のデザイン	3. 15～ 3. 30	21, 638
特別展 手で考える!? 木組みからくり展	15. 7. 19～ 8. 31	88, 334
特別展 アート オブ スター・ウォーズ展	10. 18～12. 7	40, 272
古川為三郎サイエンス企画展 水とあそぼう	16. 3. 20～ 4. 4	26, 916
特別展 むし虫ワールド	16. 7. 18～ 8. 31	140, 661
古川為三郎サイエンス企画展 光る生きものたち ～輝く魅力と探求の浪漫	17. 3. 19～ 4. 3	19, 804
特別展 庶民の算術展	17. 4. 29～ 6. 26	3, 969
特別展 Go! Go! ゴールド	7. 16～ 8. 31	46, 018
なるほど・THE・エネルギー 科学市場	11. 3～11. 16	17, 710
古川為三郎サイエンス企画展 よみがえるレオナルド・ ダ・ヴィンチ「手稿」アイデアからの再現	18. 3. 18～ 4. 2	28, 916
特別展 のりものワールド	18. 7. 22～ 9. 3	85, 214
特別展 脳!～内なる不思議の世界へ	10. 7～12. 3	25, 170
古川為三郎サイエンス企画展 みんなで考える地球温暖化	19. 3. 17～ 4. 8	56, 219
特別展 ようこそ恐竜ラボへ～研究現場はこんなにおもしろい	3. 17～ 5. 27	57, 696
特別展 ザリガニワールド	19. 7. 21～ 9. 2	74, 334
企画展 地図記号わくわく大図鑑	9. 22～ 9. 30	14, 983
古川為三郎サイエンス企画展 よくわかる地球のこと	10. 13～10. 28	20, 110
企画展 名古屋城を科学する～ヒメボタルの巻	11. 3～20. 1. 14	70, 849
特別展 世界最大の翼竜展	20. 3. 20～ 6. 15	92, 024
特別展 発明ワールド～エジソンと日本の発明～	20. 7. 19～ 8. 31	48, 340
企画展 小林・益川・下村ノーベル賞展	21. 1. 31～ 3. 15	56, 537
古川為三郎サイエンス企画展 建築家になってみよう	3. 20～ 4. 5	27, 689
企画展 名古屋城を科学する パート2 ～本丸御殿復元の意義	3. 20～ 4. 5	27, 689
特別展 お菓子の秘密	21. 7. 18～ 8. 31	90, 521
古川為三郎サイエンス企画展 ガリレオの天体観測から 400 年 宇宙の謎を解き明かす	10. 17～11. 29	46, 225
プレ COP10 企画展 肉食恐竜マプサウルス～生命の絶滅と多様化	12. 5～ 3. 14	104, 826
企画展 電気をつくろう	12. 16～ 4. 11	148, 538
企画展 名古屋城を科学する パート3 ～石垣のナゾをとときあかす	22. 3. 20～ 4. 4	32, 993

展 覧 会 名	開 催 期 間	入場者数(人)
天文館・理工館さよならフェスティバル 行こうよ、もう一度！思い出の科学館	平 22. 7. 3～ 8. 31	—————
特別展 ふしぎ！昆虫パワー	7. 17～ 8. 31	87, 589
COP10 開催記念企画展 生物多様性～あいちのニホンカモシカ	22. 10. 11～10. 31	24, 277
緊急企画展 小惑星探査機 はやぶさー帰還カプセル	10. 14～10. 18	17, 752
開館記念 古川為三郎サイエンス企画展 最新の映像技術 深海の不思議	23. 3. 19～ 5. 5	13, 815
特別企画 お化け屋敷で科学する！	23. 4. 23～ 6. 26	72, 886
新館開館記念特別展 黄河大恐竜展～中国・甘肅省大恐竜群の新発見～	7. 16～ 8. 31	157, 822
新館開館1周年記念特別展 OCEAN！海はモンスターでいっぱい	24. 3. 17～ 6. 10	105, 732
特別展 空飛ぶのりもの	24. 7. 21～ 9. 2	58, 323
企画展 見つめてふしぎ！人間の眼	11. 17～12. 2	6, 266
特別展 ドラえもんの科学みらい展	25. 3. 16～ 5. 6	123, 179
特別展 深海たんけん！	25. 7. 20～ 9. 1	136, 660
企画展 [世界を変えた書物] 展	9. 13～ 9. 29	13, 770
企画展 色いろカラフルワールド	11. 16～12. 1	11, 283
特別展 チョコレート展	12. 17～26. 2. 23	108, 414
特別展 発掘！モンゴル大恐竜展	26. 3. 19～ 6. 8	121, 976
特別展 ドラゴンボールで科学する！	26 . 7. 16～ 8. 31	106, 746
企画展 教授を魅了した大地の結晶 北川隆司 鉱物コレク ション 200 選	9. 13～ 9. 23	7, 914
特別展 館長 庵野秀明 特撮博物館 ミニチュアで見ると昭和 平成の技	11. 1～27. 1. 12	115, 054
特別展 夢と感動の宇宙展 「宇宙兄弟」ムッタとヒビトが 挑んだ空へ！	27. 3. 14～ 5. 24	88, 015
特別展 錯覚体験 ふしぎワールド！	27. 7. 18～ 8. 31	111, 605
企画展 バイオなものづくり	9. 12～ 9. 23	14, 909
特別展 生命大躍進-脊椎動物のたどった道-	10. 17～12. 13	113, 112
特別展 ポケモン研究所～キミにもできる！新たな発見～	12. 23～28. 3. 6	73, 497
特別展 恐竜・化石研究所	28. 3. 19～ 6. 12	108, 525
特別展 南極へ行こう！！～南極観測60周年記念特別展～	28. 7. 16～ 9. 4	86, 460
企画展 磁石とモーター	9. 17～ 9. 25	13, 360
特別展 チームラボアイランド 踊る！アート展と、学ぶ！ 未来の遊園地	11. 12～29. 2. 12	176, 081
特別展 恐竜の大移動～ティラノサウルス類と角竜の起源と 進化～	29. 3. 18～ 5. 28	99, 220

6 観覧料の変遷

(1) 昭和37年11月1日 天文館開館

[全館]	大人	100円
	中人(高等学校及び中学校生徒)	70円
	小人(小学校児童及び幼児)	50円

(2) 昭和39年11月1日 理工館開館

[全館]	大人	150円
	中人(高等学校及び中学校生徒)	100円
	小人(小学校児童及び幼児)	70円

[天文館]	大人	100円
	中人(高等学校及び中学校生徒)	70円
	小人(小学校児童及び幼児)	50円

[理工館]	大人	70円
	中人(高等学校及び中学校生徒)	50円
	小人(小学校児童及び幼児)	30円

(3) 昭和51年4月1日 観覧料改定

[全館]	大人	200円
	小人(中学校生徒・小学校児童及び幼児)	100円

[展示室のみ]	大人	100円
	小人(中学校生徒・小学校児童及び幼児)	50円

(4) 昭和59年4月1日 観覧料改定

[全館]	大人	300円
	小人(中学校生徒・小学校児童及び幼児)	150円

※展示室のみは据置き

(5) 平成元年4月29日 生命館開館

[全館]	大人	500円
	小人(中学校生徒及び小学校児童)	200円

※小学校就学の始期に達するまでの者は無料

[展示室のみ]	大人	250円
	小人(中学校生徒・小学校児童)	100円

※小学校就学の始期に達するまでの者は無料

(6) 平成6年4月1日 観覧料改定

[全館]	大人	600円
	小人(中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	100円

※小学校就学の始期に達するまでの者は無料

[展示室のみ]	大人	300円
	小人(中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料

※小学校就学の始期に達するまでの者は無料

(7) 平成18年4月1日 観覧料改定

[全館]	大人	600円
	高大生(大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	400円
	小人(小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料

[展示室のみ]	大人	300円
	高大生(大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	200円
	小人(小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料

(8) 平成 23 年 3 月 19 日 観覧料改定

[全館]	大人	800円
	高大生 (大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	500円
	小人 (小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料
[展示室のみ]	大人	400円
	高大生 (大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	200円
	小人 (小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料

利 用 案 内

開館時間	午前9時30分から午後5時00分まで(入館は、午後4時30分まで)							
休館日	(1) 月曜日(祝日の場合は、直後の休日でない日)							
	(2) 毎月第3金曜日(祝日の場合は、第4金曜日)							
	(3) 年末年始(12月29日から1月3日まで)							
観覧料	区 分	当 日			定期観覧券(1年間有効)			
		展示室とプラネタリウム	展示室のみ	展示室とプラネタリウム	展示室のみ			
	大 人	800円	400円	3,200円	1,600円			
	高 大 生	500円	200円	2,000円	800円			
	小人(中学生以下)	無 料						
※団体は、30人以上は1割引、100人以上は2割引								
プラネタリウム 開演時間	投影開始時間 (投影時間約50分)	10:00	11:20	12:40	14:00	15:20	16:40	
	平 日	*学習投影 一般投影	*学習投影 一般投影	*学習投影 一般投影	一般投影	一般投影	一般投影	
	土曜・5/1・5/2 春・冬休み 4/1~4/6・12/24~ 1/6・3/25~3/31	一般投影	一般投影	一般投影	ファミリー アワー	一般投影	一般投影	
	日曜・祝日 夏休み 7/21~8/31	一般投影	ファミリー アワー	一般投影	ファミリー アワー	一般投影	一般投影	
*平日10:00、11:20、12:40の回につきましては、時期により投影内容が変更となります。						定員 345人		
実演実験 演出時間	実演会場	名 称	平 日			土曜・日曜・祝日及び 5/1・5/2・8/14・8/15		
	理 工 館	5階	極寒ラボ	10:00 10:30 11:00 11:30 13:30 14:00 14:30 15:00 15:30 16:00 16:30	10:00 10:30 11:00 11:30 13:00 13:30 14:00 14:30 15:00 15:30 16:00 16:30			
		4階	放電ラボ	10:00 11:00 13:00 14:30 16:00	10:00 11:00 12:00 13:30 14:30 15:30 16:30			
	3階	竜巻ラボ	10:30 12:30 15:00	10:30 11:30 14:30 15:30				
		都市パノラマ	11:30 13:30 15:30	11:00 12:00 14:00 15:00				
	天文館	4階	サイエンス ステージ	11:00 12:00 14:00	11:00 13:00 14:00 15:00 16:00			
生命館	5階	生命ラボ	14:00	11:00 15:00				

(設置)

第 1 条 博物館法(昭和 26 年法律第 285 号。以下「法」という。)第 18 条の規定に基づき、近代科学に関する知識の普及啓発を目的として、次のように科学館を設置する。

名称 名古屋市科学館

位置 名古屋市中区栄二丁目 17 番 1 号

(事業)

第 2 条 名古屋市科学館(以下「科学館」という。)は、その目的達成のために次の事業を行う。

- (1) 科学に関する資料及び装置の展示
- (2) プラネタリウムによる天体運行等の映写及び天文観測の指導
- (3) 科学に関する図書の備付け並びに研究会、講習会、映画会等の開催
- (4) 科学技術に関する調査研究及び科学資料等の刊行
- (5) 科学知識の普及啓発に必要な他機関との協力
- (6) その他教育委員会(以下「委員会」という。)が必要と認める事業

(観覧料)

第 3 条 科学館に入館しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納付しなければならない。

第 4 条 削除

(観覧料の減免)

第 5 条 委員会は、次の各号に掲げる者について、それぞれ当該各号に定める額を、別表に規定する個人の観覧料の額から減免する。ただし、第 1 号に定める額を減免した後の観覧料の額が 100 円未満となる場合の観覧料の額は、100 円とする。

- (1) 市内に住所を有する 65 歳以上の者 当該観覧料の 3 分の 2 の額(100 円未満の端数は、切り上げる。)
- (2) 身体障害者福祉法(昭和 24 年法律第 283 号)第 15 条に規定する身体障害者手帳の交付を受けている者その他の教育委員会規則で定める者 当該観覧料の全額

2 前項に定めるもののほか、委員会は、特別の事由があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料等の不還付)

第 6 条 既納の観覧料及び料金は、還付しない。ただし、委員会が特別の理由があると認めたときは、これらの全部又は一部を還付することができる。

(秩序保持)

第 7 条 次の各号の一に該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

- (1) でい酔者又は伝染性の疾患があると認められる者
- (2) 管理上必要な指示に従わない者
- (3) その他管理上支障があると認められる者

(損害賠償等)

第 8 条 建物、展示品、図書及びその他の器物を損傷し、又は滅失させた者は、これらを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(職員)

第 9 条 科学館に、館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(科学館協議会)

第 10 条 法第 20 条第 1 項の規定に基づき、科学館に名古屋市科学館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、15 人以内とする。
- 3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、委員会が委嘱する。
- 4 委員の任期は、2 年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 委員は、再任されることができる。
- 6 委員会は、特別の事由があると認めるときは、任期中においても、委員を解任することができる。

(観覧時間等)

第 11 条 科学館の観覧時間及び休館日等に関しては、教育委員会規則で定める。

附 則 抄

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- 2 科学館の一般公開を開始する日は、市長が定める。

附 則(昭和 39 年条例第 64 号)

この条例は、昭和 39 年 11 月 1 日から施行する。

附 則(昭和 41 年条例第 19 号)

この条例は、名古屋都市計画事業復興土地区画整理事業施行地区内の中第 1 工区及び中第 2 工区に係る土地区画整理事業の換地処分公告があった日の翌日から施行する。

附 則(昭和 51 年条例第 17 号)

この条例は、昭和 51 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(昭和 55 年条例第 10 号)

この条例は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(昭和 59 年条例第 26 号)

この条例は、昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成元年条例第 4 号)

この条例は、平成元年 4 月 29 日から施行する。

附 則(平成 6 年条例第 7 号)

この条例は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 6 年条例第 17 号)

この条例は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 17 年条例第 112 号)

この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 22 年条例第 5 号)

1 この条例の施行期日は、規則で定める。

(平成 23 年規則第 2 号で平成 23 年 3 月 19 日から施行)

2 この条例による改正前の名古屋市科学館条例別表の定期観覧券を使用する場合に係るこの条例の施行の日以後の使用については、なお従前の例による。

附 則(平成 24 年条例第 8 号)

この条例は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

別表

区分	観覧料の額			
	1回券(1人につき)			定期観覧券 (1年券)
	個人	団体		
		30人以上100人未満	100人以上	
一般	800円 (400円)	720円 (360円)	640円 (320円)	3,200円 (1,600円)
大学生又は高校生	500円 (200円)	450円 (180円)	400円 (160円)	2,000円 (800円)

備考
1 一般とは、15歳以上の者(「大学生又は高校生」及び中学校又はこれに準ずる学校に在学する者を除く。)をいう。
2 大学生又は高校生とは、大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは各種学校又はこれらに準ずる学校に在学する者をいう。
3 小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校又はこれらに準ずる学校に在学する者は、無料とする。
4 ()内の額は、科学館のプラネタリウム室を利用しない者が科学館に入館しようとする場合に適用する。
5 特別装置の展示、映画会の開催その他の特別の催しをする場合における観覧料の額は、この表に定める1回券の金額を超え当該金額に3を乗じて得た額までの金額とすることができる。
6 特殊の装置を自ら運転する者は、この表に定める観覧料のほか、委員会が定める料金を納付しなければならない。

○名古屋市科学館条例施行規則

昭和 55 年 3 月 28 日
教育委員会規則第 3 号

(趣旨)

第 1 条 名古屋市科学館条例(昭和 37 年名古屋市条例第 27 号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項は、別に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(開館時間等)

第 2 条 名古屋市科学館(以下「科学館」という。)の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとし、科学館に入館することができる時間(次項において「入館時間」という。)は、午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分までとする。

2 教育委員会(以下「委員会」という。)は、必要があると認めるときは、前項の開館時間又は入館時間を変更することができる。

(休館日)

第 3 条 科学館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号。以下「法」という。)に規定する休日にあたるときは、その直後の法に規定する休日でない日)

(2) 毎月第 3 金曜日(法に規定する休日にあたるときは、第 4 金曜日)

(3) 12 月 29 日から 1 月 3 日まで

2 委員会は、特に必要があると認めるときは、休館日を臨時に定め、又は前項の休館日を変更することができる。

(団体の人員の計算)

第 4 条 条例別表に規定する団体の人員の計算は、団体を構成する総人員(観覧料を納付しない者を除く。)によって行う。

(観覧券)

第 5 条 観覧料の徴収と引き換えに、観覧券を発行する。ただし、委員会が特別の事由があると認めるときは、観覧料を後納させることができる。

(観覧券の種類)

第 6 条 観覧券は、科学館観覧券、科学館(プラネタリウム室を除く。)観覧券、団体観覧券、団体観覧券(プラネタリウム室を除く。)、定期観覧券及び定期観覧券(プラネタリウム室を除く。)とする。

2 条例別表に規定する特別装置の展示、映画会の開催その他の特別の催しをする場合においては、前項の規定にかかわらず、その都度、当該特別の催しを象徴するような特別観覧券を発行することができる。

3 観覧券の様式は、別に定める。

第 7 条 削除

(観覧券の改札)

第 8 条 観覧券の発行を受けた者は、入口において観覧券の改札を受けなければならない。
(観覧料の減免)

第 9 条 条例第 5 条第 1 項第 2 号に規定する規則で定める者は、次に掲げる手帳又は受給者証のいずれかの交付を受けている者とする。

- (1) 身体障害者福祉法(昭和 24 年法律第 283 号)第 15 条に規定する身体障害者手帳
- (2) 戦傷病者特別援護法(昭和 38 年法律第 168 号)第 4 条に規定する戦傷病者手帳
- (3) 原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律(平成 6 年法律第 117 号)第 2 条に規定する被爆者健康手帳
- (4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和 25 年法律第 123 号)第 45 条に規定する精神障害者保健福祉手帳
- (5) 市長の発行する愛護手帳(これに類する療育手帳等を含む。)
- (6) 難病の患者に対する医療等に関する法律(平成 26 年法律第 50 号)第 7 条に規定する医療受給者証
- (7) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成 17 年法律第 123 号。以下「障害者総合支援法」という。)第 22 条第 8 項に規定する障害福祉サービス受給者証(障害者総合支援法第 4 条第 1 項の政令で定める特殊の疾病に罹患している者(以下「特殊疾病者」という。)に係るものに限る。)
- (8) 障害者総合支援法第 51 条の 7 第 8 項に規定する地域相談支援受給者証(特殊疾病者に係るものに限る。)
- (9) 市長の発行する移動支援・地域活動支援受給者証(これに類するものを含む。)(特殊疾病者に係るものに限る。)

2 条例第 5 条第 2 項の規定により観覧料を減免することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- (1) 幼稚園、小学校若しくは中学校又はこれらの学校に準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として幼児、児童又は生徒の引率者が入館する場合 観覧料の全額
- (2) 市内の高等学校又はこの学校に準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として生徒及びこれらの者の引率者が入館する場合 観覧料の 5 割相当額
- (3) 児童福祉法(昭和 22 年法律第 164 号)に規定する児童福祉施設に入所している児童及びその引率者が教育上の目的で入館する場合 観覧料の全額
- (4) 前項に定める者に同行する介護者(前項に定める者 1 人につき 2 人以内に限る。)が入館する場合 観覧料の全額
- (5) 市内に住所を有する 65 歳以上の者(以下「市内の高齢者」という。)が定期観覧券により入館する場合 観覧料の額に 3 分の 2 を乗じて得た額(100 円未満の端数は、切り上げる。)
- (6) 市内の高齢者が条例別表に規定する団体の構成員として入館する場合 次の表に定める額

区分	団体	
	30人以上 100人未満	100人以上
一般	540円 (270円)	480円 (240円)
大学生又は高校生	360円 (90円)	320円 (80円)
備考 ()内の額は、科学館のプラネタリウム室を利用しない者が科学館に入館しようとする場合に適用する。		

(7) その他委員会が特別の事由があると認める場合 その都度委員会が定める額
(観覧料の減免申請手続)

第10条 前条第2項(第4号から第6号までを除く。)の規定による観覧料の減免を受けようとする者は、観覧料減免申請書(別記様式)を委員会に提出しなければならない。ただし、同項第7号の規定による場合において委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

(共通観覧券)

第10条の2 委員会は、必要があると認めるときは、他の施設との共通観覧券を発行することができる。

2 前項の共通観覧券の様式は、別に定める。

(優待券等)

第11条 委員会は、必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。

(観覧券付クーポン)

第12条 委員会は、特に必要があると認める場合に限り、旅客輸送を主たる業務とする者又は旅行業法(昭和27年法律第239号)により旅行業の登録を受けた者と共同して観覧券付クーポンを発行することができる。

2 前項の観覧券付クーポンを発行する場合の観覧料の額は、そのつど委員会が定める。

(観覧料の還付)

第12条の2 条例第6条ただし書の規定により既納の観覧料の全部又は一部を還付する場合は、次のとおりとする。

(1) 科学館の展示室又はプラネタリウム室(以下「展示室等」という。)を利用しようとする者の責めに帰することのできない理由によって展示室等を利用することができなくなったとき。

(2) その他委員会が特別の理由があると認めるとき。

(協議会の会長及び副会長)

第 13 条 名古屋市科学館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長 1 人を置き、それぞれ委員の互選により定める。

2 会長及び副会長の任期は、1 年とする。ただし、再任を妨げない。

3 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第 14 条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、定例会及び臨時会とする。

3 定例会は、毎年 2 回招集する。

4 臨時会は、必要に応じて招集する。

5 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

6 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(説明又は資料の請求等)

第 15 条 会長は、会議において関係職員に対し説明又は資料の提出を求めることができる。

2 関係職員は、会議に出席して意見を述べるができる。

(協議会の庶務)

第 16 条 協議会の庶務は、科学館において行う。

(委任)

第 17 条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

1 この規則は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。

2 この規則施行の際現に市立名古屋科学館条例施行細則(昭和 37 年名古屋市規則第 70 号。以下「旧規則」という。)の規定に基づく優待券を所持する者の使用については、なお従前の例による。

3 この規則施行の際現に旧規則に基づいて提出されている観覧料減免申請書は、この規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。

4 この規則施行の際現に旧規則の規定に基づいて調製されている観覧券及び観覧料減免申請書は、残量のある限り、使用することができる。ただし、観覧料減免申請書については、この規則の様式の要件を満たすよう修正するものとする。

附 則(昭和 56 年教育委員会規則第 7 号)

この規則は、昭和 56 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(昭和 59 年教育委員会規則第 5 号)

1 この規則は、昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。

2 この規則施行の際現にこの規則による改正前の市立名古屋科学館条例施行規則の規定により調製されている科学館観覧券は、この規則による改正後の市立名古屋科学館条例施行規則(以下「改正後規則」という。)の規定にかかわらず、残量のある限り、改正後規則の様式の要件を満たすように修正して使用することができる。

附 則(昭和 63 年教育委員会規則第 14 号)

この規則は、昭和 63 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成元年教育委員会規則第 9 号)

- 1 この規則は、平成元年4月29日から施行する。
- 2 この規則施行の際現にこの規則による改正前の市立名古屋科学館条例施行規則の規定に基づいて提出されている観覧料減免申請書は、この規則による改正後の名古屋市科学館条例施行規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。
- 3 教育長専決規則(昭和31年名古屋市教育委員会規則第13号)の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

附 則(平成4年教育委員会規則第2号)

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則(平成5年教育委員会規則第15号)

1 この規則は、平成5年6月1日から施行する。

2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の名古屋市立養護学校学則等の規定に基づいて作成されている申請書等は、この規則による改正後の名古屋市立養護学校学則等の規定にかかわらず、当分の間、修正して使用することができる。

附 則(平成6年教育委員会規則第1号)抄

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて提出されている申請書等は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。

4 この規則の施行の際現に第1条及び第2条の規定による改正前の各規則の規定に基づいて作成されている用紙で残量のあるものについては、これらの規定による改正後の各規則の規定にかかわらず、当分の間、使用することができる。

附 則(平成6年教育委員会規則第8号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成6年教育委員会規則第17号)抄

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成7年教育委員会規則第13号)

この規則は、平成7年12月1日から施行する。

附 則(平成13年教育委員会規則第4号)

1 この規則は、平成13年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて提出されている申請書等は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。

3 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて交付されている許可書は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて交付されたものとみなす。

4 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて作成されている用紙で残量のあるものについては、この規則による改正後の各規則の規定にかかわらず、当分の間、修正して使用することができる。

附 則(平成13年教育委員会規則第5号)

1 この規則は、公布の日から施行する。

2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて定められている観覧券等の様式は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて定められたものとみなす。

附 則(平成15年教育委員会規則第14号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成16年教育委員会規則第14号)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成17年教育委員会規則第26号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成22年教育委員会規則第12号)

この規則は、名古屋市科学館条例の一部を改正する条例(平成22年名古屋市条例第5号)の施行の日から施行する。

(施行の日＝平成23年3月19日)

附 則(平成23年教育委員会規則第31号)

この規則は、平成24年1月21日から施行する。

附 則(平成26年教育委員会規則第15号)抄

1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成28年教育委員会規則第19号)

この規則は、平成28年10月1日から施行する。

附 則（平成 29 年教育委員会規則第 14 号）
この規則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

別記様式(第 10 条関係)

名古屋市科学館観覧料減免申請書	
年 月 日	
<p>(あて先)名古屋市教育委員会</p> <p style="text-align: center;">(申請者)</p> <p style="text-align: center;">住 所(団体は主な事務所の所在地及び名称)</p> <p style="text-align: center;">氏 名(団体は代表者氏名)</p> <p style="text-align: center;">電話 自宅(団体は主な事務所)</p> <p style="text-align: center;">勤務先</p> <p>次のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。</p>	
観 覧 の 種 別	
観 覧 年 月 日	年 月 日
観 覧 の 人 員	
引率者の職氏名	
観 覧 の 目 的	
減免を受けようとする理由	
減免を受けようとする金額	
そ の 他	

(備考) 用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。

位置略図



交通アクセス

- 地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」下車 4,5番出口から南へ徒歩5分
- 市バス「広小路伏見」下車 南へ徒歩5分
- 名鉄バス「白川公園前」下車 北へ徒歩5分

名古屋市科学館要覧

(平成29年度)

発行 名古屋市科学館
 発行年月日 平成29年8月末日

この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



名古屋市科学館
NAGOYA CITY SCIENCE MUSEUM

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目 17 番 1 号

(芸術と科学の杜・白川公園内)

TEL (052) 201-4486

FAX (052) 203-0788

団体予約専用 TEL (052) 231-9771

インターネットホームページ <http://www.ncsm.city.nagoya.jp/>